

【表紙】

【提出書類】	訂正有価証券届出書
【提出先】	関東財務局長殿
【提出日】	2019年2月13日提出
【発行者名】	三菱UFJ国際投信株式会社
【代表者の役職氏名】	取締役社長 松田 通
【本店の所在の場所】	東京都千代田区有楽町一丁目12番1号
【事務連絡者氏名】	伊藤 晃
【電話番号】	03-6250-4740
【届出の対象とした募集（売出）内国投資 信託受益証券に係るファンドの名称】	三菱UFJ <DC>インデックス・ライフ・バランス ファンド（積極 型）
【届出の対象とした募集（売出）内国投資 信託受益証券の金額】	1兆円を上限とします。
【縦覧に供する場所】	該当事項はありません。

1【有価証券届出書の訂正届出書の提出理由】

2018年8月13日付をもって提出した有価証券届出書（以下「原届出書」といいます。）について半期報告書の提出に伴う関係情報の更新等を行うため、本訂正届出書を提出します。

2【訂正の内容】

<訂正前>および<訂正後>に記載している下線部__は訂正部分を示し、<更新後>に記載している内容は原届出書の更新後の内容を示します。

「第二部 ファンド情報 第1 ファンド状況 5 運用状況」は原届出書の更新後の内容を記載します。

なお、「第二部 ファンド情報 第3 ファンドの経理状況」において、「1 財務諸表」につきましては「中間財務諸表」が追加され、「2 ファンドの現況」につきましては原届出書の更新後の内容を記載します。

第一部【証券情報】

(7)【申込期間】

<訂正前>

平成30年 8月14日から平成31年 8月 9日まで

申込期間は、前記期間終了前に有価証券届出書を提出することによって更新される予定です。

<訂正後>

2018年 8月14日から2019年 8月 9日まで

申込期間は、前記期間終了前に有価証券届出書を提出することによって更新される予定です。

第二部【ファンド情報】

第1【ファンドの状況】

1【ファンドの性格】

(2)【ファンドの沿革】

<訂正前>

平成13年12月19日
平成17年10月1日

設定日、信託契約締結、運用開始
ファンドの委託会社としての業務をユーエフジェイパートナーズ投
信株式会社から三菱UFJ投信株式会社に承継
名称を「UFJパートナーズ<DC>インデックス・ライフ・バラ
ンス ファンド(積極型)」から「三菱UFJ <DC>インデック
ス・ライフ・バランス ファンド(積極型)」に変更

<訂正後>

2001年12月19日
2005年10月1日

設定日、信託契約締結、運用開始
ファンドの委託会社としての業務をユーエフジェイパートナーズ投
信株式会社から三菱UFJ投信株式会社に承継
名称を「UFJパートナーズ<DC>インデックス・ライフ・バラ
ンス ファンド(積極型)」から「三菱UFJ <DC>インデック
ス・ライフ・バランス ファンド(積極型)」に変更

(3)【ファンドの仕組み】

<訂正前>

委託会社と関係法人との契約の概要

	概要
委託会社と受託会社との契約 「信託契約」	運用に関する事項、委託会社および受託会社とし ての業務に関する事項、受益者に関する事項等が 定められています。 なお、信託契約は、「投資信託及び投資法人に関 する法律」に基づきあらかじめ監督官庁に届け出 られた信託約款の内容で締結されます。
委託会社と販売会社との契約 「投資信託受益権の取扱いに関する契約」	販売会社の募集の取扱い、解約の取扱い、収益分 配金・償還金の支払いの取扱いに係る事務の内容 等が定められています。

委託会社の概況（平成30年5月末現在）

- ・金融商品取引業者登録番号
金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第404号
- ・設立年月日
昭和60年8月1日
- ・資本金
2,000百万円
- ・沿革
平成9年5月

東京三菱投信投資顧問株式会社が証券投資信託委託業務を開始

- 平成16年10月 東京三菱投信投資顧問株式会社と三菱信アセットマネジメント株式会社が合併、商号を三菱投信株式会社に変更
- 平成17年10月 三菱投信株式会社とユーエフジェイパートナーズ投信株式会社が合併、商号を三菱UFJ投信株式会社に変更
- 平成27年7月 三菱UFJ投信株式会社と国際投信投資顧問株式会社が合併、商号を三菱UFJ国際投信株式会社に変更

・大株主の状況

株主名	住所	所有株式数	所有比率
三菱UFJ信託銀行株式会社	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号	211,581株	100.0%

<訂正後>

委託会社と関係法人との契約の概要

	概要
委託会社と受託会社との契約 「信託契約」	運用に関する事項、委託会社および受託会社としての業務に関する事項、受益者に関する事項等が定められています。 なお、信託契約は、「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づきあらかじめ監督官庁に届け出られた信託約款の内容で締結されます。
委託会社と販売会社との契約 「投資信託受益権の取扱いに関する契約」	販売会社の募集の取扱い、解約の取扱い、収益分配金・償還金の支払いの取扱いに係る事務の内容等が定められています。

委託会社の概況（2018年11月末現在）

- 金融商品取引業者登録番号
金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第404号
- 設立年月日
1985年8月1日
- 資本金
2,000百万円
- 沿革
1997年5月 東京三菱投信投資顧問株式会社が証券投資信託委託業務を開始
2004年10月 東京三菱投信投資顧問株式会社と三菱信アセットマネジメント株式会社が合併、商号を三菱投信株式会社に変更
2005年10月 三菱投信株式会社とユーエフジェイパートナーズ投信株式会社が合併、商号を三菱UFJ投信株式会社に変更
2015年7月 三菱UFJ投信株式会社と国際投信投資顧問株式会社が合併、商号を三菱UFJ国際投信株式会社に変更

・大株主の状況

株主名	住所	所有株式数	所有比率
三菱UFJ信託銀行株式会社	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号	211,581株	100.0%

3【投資リスク】

<更新後>

(1) 投資リスク

ファンドの基準価額は、組み入れている有価証券等の価格変動による影響を受けますが、これらの運用により信託財産に生じた損益はすべて投資者のみなさまに帰属します。
したがって、投資者のみなさまの投資元本が保証されているものではなく、基準価額の下落によ

り損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。

投資信託は預貯金と異なります。

ファンドの基準価額の変動要因として、主に以下のリスクがあります。

（主なリスクであり、以下に限定されるものではありません。）

価格変動リスク

一般に、株式の価格は個々の企業の活動や業績、市場・経済の状況等を反映して変動し、また、公社債の価格は市場金利の変動等を受けて変動するため、当ファンドはその影響を受け株式や公社債の価格が下落した場合には基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。

為替変動リスク

実質的な主要投資対象である海外の株式や公社債は外貨建資産であり、原則として為替ヘッジを行いませんので、為替変動の影響を大きく受けます。そのため、為替相場が円高方向に進んだ場合には、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。

信用リスク

信用リスクとは、有価証券等の発行者や取引先等の経営・財務状況が悪化した場合またはそれが予想された場合もしくはこれらに関する外部評価の悪化があった場合等に、当該有価証券等の価格が下落することやその価値がなくなること、または利払いや償還金の支払いが滞る等の債務が不履行となること等をいいます。当ファンドは、信用リスクを伴い、その影響を受けますので、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。

流動性リスク

有価証券等を売却あるいは取得しようとする際に、市場に十分な需要や供給がない場合や取引規制等により十分な流動性の下での取引を行えない、または取引が不可能となるリスクのことを流動性リスクといい、当ファンドはそのリスクを伴います。例えば、組み入れている株式や公社債の売却を十分な流動性の下で行えないときは、市場実勢から期待される価格で売却できない可能性があります。この場合、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。

留意事項

- 当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリングオフ）の適用はありません。
- 収益分配金の水準は、必ずしも計算期間における当ファンドの収益の水準を示すものではありません。収益分配は、計算期間に生じた収益を超えて行われる場合があります。投資者の購入価額によっては、収益分配金の一部または全部が、実質的な元本の一部払戻しに相当する場合があります。当ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり率が小さかった場合も同様です。収益分配金の支払いは、信託財産から行われます。したがって純資産総額の減少、基準価額の下落要因となります。
- 当ファンドは、ファミリーファンド方式により運用を行います。そのため、当ファンドが投資対象とするマザーファンドを共有する他のベビーファンドの追加設定・解約によってマザーファンドに売買が生じた場合などには、当ファンドの基準価額に影響する場合があります。
- 当ファンドは、ベンチマークと同程度の投資成果をあげることをめざして運用を行います。信託報酬、売買委託手数料等を負担すること、指数先物取引と当該指数の動きが連動しないこと、売買約定価格と当該指数の評価価格の差が生じること、指数構成銘柄と組入銘柄の違いおよびそれらの構成比に違いが生じること、当該指数を構成する銘柄が変更になること、為替の評価による影響等の要因により乖離を生じることがあります。

（２）投資リスクに対する管理体制

委託会社では、ファンドのコンセプトに沿ったリスクの範囲内で運用を行うとともに運用部から独立した管理担当部署によりリスク運営状況のモニタリング等のリスク管理を行っています。

また、定期的に関催されるリスク管理に関する会議体等において、それらの状況の報告を行うほか、必要に応じて改善策を審議しています。この内容は運用部門にフィードバックされ、必要に応じて是正を指示します。

具体的な、投資リスクに対するリスク管理体制は以下の通りです。

トレーディング担当部署

有価証券等の売買執行および発注に係る法令等の遵守および監視・牽制を行います。

コンプライアンス担当部署

法令上の禁止行為、約款の投資制限等のモニタリングを通じ、法令等遵守状況を把握・管理し、必要に応じて改善の指導を行います。

リスク管理担当部署

運用リスク全般の状況をモニタリング・管理するとともに、運用実績の分析および評価を行い、必要に応じて改善策等を提言します。また、事務・情報資産・その他のリスクの統括的管理を行っています。

内部監査担当部署

委託会社のすべての業務から独立した立場より、リスク管理体制の適切性および有効性について評価を行い、改善策の提案等を通して、リスク管理機能の維持・向上をはかります。

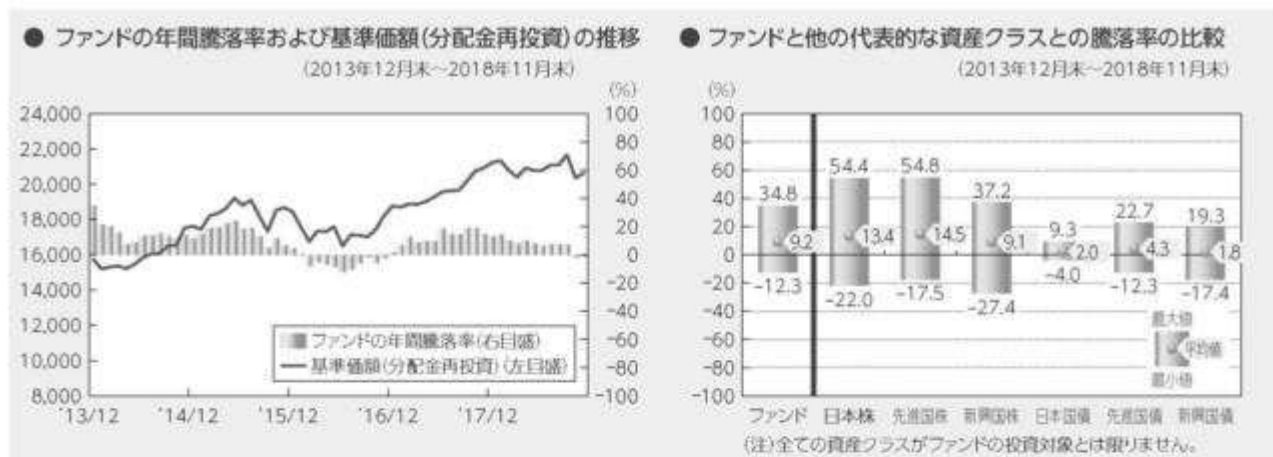
<流動性リスクに対する管理体制>

流動性リスクは、運用部門で市場の流動性の把握に努め、投資対象・売買数量等を適切に選択することによりコントロールしています。また、運用部門から独立したリスク管理担当部署においても流動性についての情報収集や分析・管理を行い、この結果はリスク管理に関する会議体等に報告されます。

* 組織変更等により、前記の名称および内容は変更となる場合があります。

■代表的な資産クラスとの騰落率の比較等

下記のグラフは、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。



- 基準価額(分配金再投資)は分配金(税引前)を分配時に再投資したものと計算しており、実際の基準価額とは異なる場合があります。
- 年間騰落率とは、各月末における直近1年間の騰落率をいいます。
- ファンドの年間騰落率は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算した年間騰落率が記載されており、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

上記は、過去の実績であり、将来の投資成果を保証するものではありません。

代表的な資産クラスの指数について

資産クラス	指数名	注記等
日本株	TOPIX(配当込み)	TOPIX(配当込み)とは、東京証券取引所第一部に上場する内国普通株式全銘柄を対象として算出した指数(TOPIX)に、現金配当による権利落ちの修正を加えた株価指数です。TOPIX(配当込み)に関する知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。東京証券取引所は、TOPIX(配当込み)の算出もしくは公表の方法の変更、TOPIX(配当込み)の算出もしくは公表の停止またはTOPIX(配当込み)の商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。
先進国株	MSCIコクサイ・インデックス(配当込み)	MSCIコクサイ・インデックス(配当込み)とは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国で構成されています。また、MSCIコクサイ・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。
新興国株	MSCIエマージング・マーケット・インデックス(配当込み)	MSCIエマージング・マーケット・インデックス(配当込み)とは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、世界の新興国で構成されています。また、MSCIエマージング・マーケット・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。
日本国債	NOMURA-BPI(国債)	NOMURA-BPIとは、野村證券株式会社が発表しているわが国の代表的な債券パフォーマンスインデックスで、NOMURA-BPI(国債)はそのサブインデックスです。わが国の国債で構成されており、ポートフォリオの投資収益率・利回り・クーポン・デュレーション等の各指標が日々公表されます。NOMURA-BPI(国債)は野村證券株式会社所有の知的財産であり、運用成果等に関し、野村證券株式会社は一切関係ありません。
先進国債	FTSE世界国債インデックス(除く日本)	FTSE世界国債インデックス(除く日本)は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。FTSE Fixed Income LLCは、本ファンドのスポンサーではなく、本ファンドの推奨、販売あるいは販売促進を行っておりません。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。
新興国債	JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド	JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイドとは、J.P.モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが算出し公表している指数で、現地通貨建てのエマージング債市場の代表的なインデックスです。現地通貨建てのエマージング債のうち、投資規制の有無や、発行規模等を考慮して選ばれた銘柄により構成されています。当指数の著作権はJ.P.モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。

(注)海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。

4【手数料等及び税金】

(3) 【信託報酬等】

<訂正前>

- 信託報酬の総額は、ファンドの計算期間を通じて毎日、信託財産の純資産総額に、年0.3996%（税抜0.37%）以内の率を乗じて得た額とします。（平成30年8月14日現在：年0.3996%（税抜0.37%））

1万口当たりの信託報酬：保有期間中の平均基準価額×信託報酬率×（保有日数／365）
上記の計算方法は簡便法であるため、算出された値は概算値になります。

- 信託報酬は、毎計算期間の6ヵ月終了日および毎計算期末または信託終了のとき信託財産中から支弁します。
- 信託報酬の各支払先への配分（税抜）は、以下の通りです。

支払先	配分（税抜）	対価として提供する役務の内容
委託会社	0.2%	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等
販売会社	0.12%	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等
受託会社	0.05%	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等

上記信託報酬には、別途消費税等相当額がかかります。

<訂正後>

- 信託報酬の総額は、ファンドの計算期間を通じて毎日、信託財産の純資産総額に、年0.3996%（税抜0.37%）以内の率を乗じて得た額とし、日々ファンドの基準価額に反映されます。（2019年2月14日現在：年0.3996%（税抜0.37%））

1万口当たりの信託報酬：保有期間中の平均基準価額×信託報酬率×（保有日数／365）
上記の計算方法は簡便法であるため、算出された値は概算値になります。

- 信託報酬は、毎計算期間の6ヵ月終了日および毎計算期末または信託終了のとき信託財産中から支弁します。
- 信託報酬の各支払先への配分（税抜）は、以下の通りです。

支払先	配分（税抜）	対価として提供する役務の内容
委託会社	0.2%	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等
販売会社	0.12%	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等
受託会社	0.05%	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等

上記信託報酬には、別途消費税等相当額がかかります。

(5) 【課税上の取扱い】

<訂正前>

課税上は、株式投資信託として取り扱われます。

確定拠出年金法に定める加入者等の運用の指図に基づいて受益権の取得の申込みを行う資産管理

機関および国民年金基金連合会等の場合、所得税および地方税がかかりません。なお、確定拠出年金制度の加入者については、確定拠出年金の積立金の運用にかかる税制が適用されます。上記以外の場合の課税の取扱いは、次の通りです。

個人の受益者に対する課税

受益者が支払いを受ける収益分配金のうち課税扱いとなる普通分配金ならびに解約時および償還時の譲渡益については、次の通り課税されます。

1. 収益分配金の課税

普通分配金が配当所得として課税されます。元本払戻金(特別分配金)は課税されません。

原則として、20.315%(所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%)の税率で源泉徴収(申告不要)されます。なお、確定申告を行い、総合課税(配当控除の適用があります。・申告分離課税を選択することもできます。)

2. 解約時および償還時の課税

解約価額および償還価額から取得費(申込手数料(税込)を含みます。)を控除した利益(譲渡益)が譲渡所得とみなされて課税されます。

20.315%(所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%)の税率による申告分離課税が適用されます。

特定口座(源泉徴収選択口座)を利用する場合、20.315%(所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%)の税率で源泉徴収され、原則として、申告は不要です。

解約時および償還時の損失(譲渡損)については、確定申告により収益分配金を含む上場株式等の配当所得(申告分離課税を選択した収益分配金・配当金に限ります。)との損益通算が可能となる仕組みがあります。

買取りの取扱いについては、販売会社にお問い合わせください。

法人の受益者に対する課税

受益者が支払いを受ける収益分配金のうち課税扱いとなる普通分配金ならびに解約時および償還時の個別元本超過額については、配当所得として15.315%(所得税15%、復興特別所得税0.315%)の税率で源泉徴収されます。地方税の源泉徴収はありません。なお、益金不算入制度の適用はありません。

買取りの取扱いについては、販売会社にお問い合わせください。

個別元本について

受益者毎の信託時の受益権の価額等(申込手数料(税込)は含まれません。)が当該受益者の元本(個別元本)にあたります。

受益者が同一ファンドの受益権を複数回取得した場合、個別元本は、当該受益者が追加信託を行うつど当該受益者の受益権口数で加重平均することにより算出されます。ただし、同一ファンドを複数の販売会社で取得する場合や、同一販売会社であっても複数支店等で同一ファンドを取得する場合等は、個別元本の算出方法が異なる場合があります。

受益者が元本払戻金(特別分配金)を受け取った場合、収益分配金発生時にその個別元本から当該元本払戻金(特別分配金)を控除した額が、その後の当該受益者の個別元本となります。

収益分配金について

受益者が収益分配金を受け取る際、当該収益分配金落ち後の基準価額が当該受益者の個別元本と同額の場合または当該受益者の個別元本を上回っている場合には、当該収益分配金の全額が普通分配金となり、当該収益分配金落ち後の基準価額が当該受益者の個別元本を下回っている場合には、その下回る部分の額が元本払戻金(特別分配金)となり、当該収益分配金から当該元本払戻金(特別分配金)を控除した額が普通分配金となります。

なお、受益者が元本払戻金(特別分配金)を受け取った場合、収益分配金発生時にその個別元本から当該元本払戻金(特別分配金)を控除した額が、その後の当該受益者の個別元本となります。

上記は平成30年5月末現在のものですので、税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。

課税上の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

<訂正後>

課税上は、株式投資信託として取り扱われます。

確定拠出年金法に定める加入者等の運用の指図に基づいて受益権の取得の申込みを行う資産管理機関および国民年金基金連合会等の場合、所得税および地方税がかかりません。なお、確定拠出年金制度の加入者については、確定拠出年金の積立金の運用にかかる税制が適用されます。

上記以外の場合の課税の取扱いは、次の通りです。

個人の受益者に対する課税

受益者が支払いを受ける収益分配金のうち課税扱いとなる普通分配金ならびに解約時および償還時の譲渡益については、次の通り課税されます。

1. 収益分配金の課税

普通分配金が配当所得として課税されます。元本払戻金（特別分配金）は課税されません。

原則として、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%）の税率で源泉徴収（申告不要）されます。なお、確定申告を行い、総合課税（配当控除の適用があります。）・申告分離課税を選択することもできます。

2. 解約時および償還時の課税

解約価額および償還価額から取得費（申込手数料（税込）を含みます。）を控除した利益（譲渡益）が譲渡所得とみなされて課税されます。

20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%）の税率による申告分離課税が適用されます。

特定口座（源泉徴収選択口座）を利用する場合、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%）の税率で源泉徴収され、原則として、申告は不要です。

解約時および償還時の損失（譲渡損）については、確定申告により収益分配金を含む上場株式等の配当所得（申告分離課税を選択した収益分配金・配当金に限ります。）との損益通算が可能となる仕組みがあります。

買取りの取扱いについては、販売会社にお問い合わせください。

法人の受益者に対する課税

受益者が支払いを受ける収益分配金のうち課税扱いとなる普通分配金ならびに解約時および償還時の個別元本超過額については、配当所得として15.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%）の税率で源泉徴収されます。地方税の源泉徴収はありません。なお、益金不算入制度の適用はありません。

買取りの取扱いについては、販売会社にお問い合わせください。

個別元本について

受益者毎の信託時の受益権の価額等（申込手数料（税込）は含まれません。）が当該受益者の元本（個別元本）にあたります。

受益者が同一ファンドの受益権を複数回取得した場合、個別元本は、当該受益者が追加信託を行うつど当該受益者の受益権口数で加重平均することにより算出されます。ただし、同一ファンドを複数の販売会社で取得する場合や、同一販売会社であっても複数支店等で同一ファンドを取得する場合等は、個別元本の算出方法が異なる場合があります。

受益者が元本払戻金（特別分配金）を受け取った場合、収益分配金発生時にその個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の当該受益者の個別元本となります。

収益分配金について

受益者が収益分配金を受け取る際、当該収益分配金落ち後の基準価額が当該受益者の個別元本と同額の場合または当該受益者の個別元本を上回っている場合には、当該収益分配金の全額が普通分配金となり、当該収益分配金落ち後の基準価額が当該受益者の個別元本を下回っている場合には、その下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）となり、当該収益分配金から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が普通分配金となります。

なお、受益者が元本払戻金（特別分配金）を受け取った場合、収益分配金発生時にその個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の当該受益者の個別元本となり

ます。

上記は2018年11月末現在のもので、税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。

課税上の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

5【運用状況】

【三菱UFJ <DC>インデックス・ライフ・バランス ファンド（積極型）】

（1）【投資状況】

平成30年11月30日現在

（単位：円）

資産の種類	国/地域	時価合計	投資比率（%）
親投資信託受益証券	日本	5,965,160,248	97.03
コール・ローン、その他資産 （負債控除後）		182,835,483	2.97
純資産総額		6,147,995,731	100.00

（注）投資比率とは、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率をいいます。

（2）【投資資産】

【投資有価証券の主要銘柄】

a 評価額上位30銘柄

平成30年11月30日現在

国/地域	種類	銘柄名	数量	簿価 単価 (円)	簿価 金額 (円)	評価 単価 (円)	評価 金額 (円)	投資 比率 (%)
日本	親投資信託受益証券	TOPIXマザーファンド	1,380,100,665	1.9030	2,626,331,566	1.7868	2,465,963,868	40.11
日本	親投資信託受益証券	日本債券インデックスマザーファンド	1,232,534,411	1.3272	1,635,934,339	1.3263	1,634,710,389	26.59
日本	親投資信託受益証券	外国株式インデックスマザーファンド	576,985,276	2.6765	1,544,301,092	2.6984	1,556,937,068	25.32
日本	親投資信託受益証券	外国債券インデックスマザーファンド	150,929,442	2.0179	304,560,522	2.0377	307,548,923	5.00

（注）投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該銘柄の評価金額の比率です。

b 全銘柄の種類 / 業種別投資比率

平成30年11月30日現在

種類	投資比率（%）
親投資信託受益証券	97.03
合計	97.03

（注）投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該種類または業種の評価金額の比率です。

【投資不動産物件】

該当事項はありません。

【その他投資資産の主要なもの】

該当事項はありません。

(3) 【運用実績】

【純資産の推移】

下記計算期間末日および平成30年11月末日、同日前1年以内における各月末の純資産の推移は次の通りです。

(単位：円)

	純資産総額		基準価額 (1万口当たりの純資産価額)	
	(分配落)	(分配付)	(分配落)	(分配付)
第8計算期間末日 (平成21年 5月12日)	1,778,523,388	1,778,523,388	10,094	10,094
第9計算期間末日 (平成22年 5月12日)	2,244,066,232	2,244,066,232	10,968	10,968
第10計算期間末日 (平成23年 5月12日)	2,509,240,315	2,509,240,315	10,930	10,930
第11計算期間末日 (平成24年 5月14日)	2,574,014,665	2,574,014,665	10,464	10,464
第12計算期間末日 (平成25年 5月13日)	3,757,216,820	3,757,216,820	14,636	14,636
第13計算期間末日 (平成26年 5月12日)	3,985,789,295	3,985,789,295	15,107	15,107
第14計算期間末日 (平成27年 5月12日)	4,915,177,130	4,915,177,130	18,591	18,591
第15計算期間末日 (平成28年 5月12日)	4,597,329,193	4,597,329,193	17,102	17,102
第16計算期間末日 (平成29年 5月12日)	5,266,579,410	5,266,579,410	19,314	19,314
第17計算期間末日 (平成30年 5月14日)	6,114,874,188	6,114,874,188	21,064	21,064
平成29年11月末日	5,841,746,806		20,829	
12月末日	6,020,365,579		21,129	
平成30年 1月末日	6,104,631,755		21,239	
2月末日	5,963,811,472		20,680	
3月末日	5,890,540,550		20,302	
4月末日	6,038,274,870		20,820	
5月末日	6,031,664,246		20,690	
6月末日	6,048,431,916		20,676	
7月末日	6,157,313,125		20,981	
8月末日	6,198,485,957		20,974	
9月末日	6,382,591,217		21,569	
10月末日	6,026,810,155		20,266	
11月末日	6,147,995,731		20,517	

【分配の推移】

	1万口当たりの分配金
第8計算期間	0円
第9計算期間	0円
第10計算期間	0円
第11計算期間	0円
第12計算期間	0円
第13計算期間	0円
第14計算期間	0円
第15計算期間	0円
第16計算期間	0円
第17計算期間	0円

【収益率の推移】

	収益率（％）
第8計算期間	23.58
第9計算期間	8.65
第10計算期間	0.34
第11計算期間	4.26
第12計算期間	39.87
第13計算期間	3.21
第14計算期間	23.06
第15計算期間	8.00
第16計算期間	12.93
第17計算期間	9.06
第18中間計算期間	3.28

（注）「収益率」とは、計算期間末の基準価額（分配付の額）から当該計算期間の直前の計算期間末の基準価額（分配落の額）を控除した額を当該基準価額（分配落の額）で除して得た数に100を乗じて得た数をいう。

（４）【設定及び解約の実績】

	設定口数	解約口数	発行済口数
第8計算期間	652,226,249	179,945,036	1,761,930,700
第9計算期間	412,185,936	128,120,719	2,045,995,917
第10計算期間	406,154,730	156,320,706	2,295,829,941
第11計算期間	361,177,609	197,170,950	2,459,836,600
第12計算期間	449,820,838	342,608,246	2,567,049,192
第13計算期間	539,147,482	467,757,667	2,638,439,007
第14計算期間	749,070,498	743,723,036	2,643,786,469
第15計算期間	432,999,552	388,526,540	2,688,259,481
第16計算期間	454,146,257	415,607,930	2,726,797,808

第17計算期間	553,502,152	377,293,404	2,903,006,556
第18中間計算期間	237,886,709	163,888,524	2,977,004,741

（参考）

日本債券インデックスマザーファンド

投資状況

平成30年11月30日現在

（単位：円）

資産の種類	国/地域	時価合計	投資比率（%）
国債証券	日本	483,485,609,580	82.40
地方債証券	日本	30,365,195,808	5.18
特殊債券	日本	37,865,776,774	6.45
社債券	日本	28,256,448,910	4.82
コール・ローン、その他資産 （負債控除後）		6,774,257,118	1.15
純資産総額		586,747,288,190	100.00

（注）投資比率とは、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率をいいます。

その他の資産の投資状況

平成30年11月30日現在

（単位：円）

資産の種類	建別	国/地域	時価合計	投資比率（%）
債券先物取引	買建	日本	2,116,380,000	0.36

（注）投資比率とは、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率をいいます。

投資資産

投資有価証券の主要銘柄

a 評価額上位30銘柄

平成30年11月30日現在

国/地域	種類	銘柄名	数量	簿価単価 (円)	簿価金額 (円)	評価単価 (円)	評価金額 (円)	利率 (%)	償還期限 (年/月/日)	投資比率 (%)
日本	国債証券	第312回利付国債（10年）	6,860,000,000	103.45	7,097,081,600	102.73	7,047,895,400	1.200000	2020/12/20	1.20
日本	国債証券	第134回利付国債（5年）	6,210,000,000	100.88	6,265,217,000	100.91	6,266,821,500	0.100000	2022/12/20	1.07
日本	国債証券	第329回利付国債（10年）	5,860,000,000	104.58	6,128,388,000	104.18	6,104,948,000	0.800000	2023/6/20	1.04

日本	国債証券	第133回利付国債(5年)	5,970,000,000	100.85	6,020,770,500	100.85	6,021,222,600	0.100000	2022/9/20	1.03
日本	国債証券	第333回利付国債(10年)	5,730,000,000	103.91	5,954,599,900	103.72	5,943,385,200	0.600000	2024/3/20	1.01
日本	国債証券	第335回利付国債(10年)	5,670,000,000	103.45	5,866,125,000	103.43	5,864,934,600	0.500000	2024/9/20	1.00
日本	国債証券	第135回利付国債(5年)	5,780,000,000	101.02	5,839,079,000	100.94	5,834,852,200	0.100000	2023/3/20	0.99
日本	国債証券	第136回利付国債(5年)	5,550,000,000	100.79	5,593,855,000	100.98	5,604,501,000	0.100000	2023/6/20	0.96
日本	国債証券	第350回利付国債(10年)	5,500,000,000	100.64	5,535,200,000	100.46	5,525,410,000	0.100000	2028/3/20	0.94
日本	国債証券	第340回利付国債(10年)	5,350,000,000	103.02	5,511,915,000	103.13	5,517,936,500	0.400000	2025/9/20	0.94
日本	国債証券	第348回利付国債(10年)	5,450,000,000	100.45	5,474,815,500	100.70	5,488,259,000	0.100000	2027/9/20	0.94
日本	国債証券	第351回利付国債(10年)	5,450,000,000	99.85	5,441,985,000	100.28	5,465,478,000	0.100000	2028/6/20	0.93
日本	国債証券	第130回利付国債(5年)	5,350,000,000	100.69	5,387,035,000	100.70	5,387,610,500	0.100000	2021/12/20	0.92
日本	国債証券	第332回利付国債(10年)	5,040,000,000	103.82	5,232,800,000	103.57	5,220,230,400	0.600000	2023/12/20	0.89
日本	国債証券	第339回利付国債(10年)	4,960,000,000	103.03	5,110,678,000	103.09	5,113,264,000	0.400000	2025/6/20	0.87
日本	国債証券	第334回利付国債(10年)	4,830,000,000	103.89	5,017,981,000	103.87	5,017,114,200	0.600000	2024/6/20	0.86
日本	国債証券	第346回利付国債(10年)	4,790,000,000	100.78	4,827,362,000	100.87	4,831,720,900	0.100000	2027/3/20	0.82
日本	国債証券	第343回利付国債(10年)	4,760,000,000	100.91	4,803,427,000	101.05	4,810,408,400	0.100000	2026/6/20	0.82
日本	国債証券	第391回利付国債(2年)	4,700,000,000	100.39	4,718,447,000	100.41	4,719,552,000	0.100000	2020/8/1	0.80
日本	国債証券	第342回利付国債(10年)	4,580,000,000	100.98	4,624,895,400	101.09	4,630,242,600	0.100000	2026/3/20	0.79
日本	国債証券	第125回利付国債(5年)	4,400,000,000	100.53	4,423,320,000	100.44	4,419,404,000	0.100000	2020/9/20	0.75
日本	国債証券	第352回利付国債(10年)	4,350,000,000	99.99	4,349,936,500	100.14	4,356,307,500	0.100000	2028/9/20	0.74
日本	国債証券	第338回利付国債(10年)	4,130,000,000	103.03	4,255,297,300	103.00	4,254,023,900	0.400000	2025/3/20	0.73
日本	国債証券	第131回利付国債(5年)	4,210,000,000	100.77	4,242,417,000	100.76	4,241,996,000	0.100000	2022/3/20	0.72
日本	国債証券	第345回利付国債(10年)	4,190,000,000	100.72	4,220,220,000	100.92	4,228,799,400	0.100000	2026/12/20	0.72
日本	国債証券	第336回利付国債(10年)	4,080,000,000	103.67	4,229,980,800	103.52	4,223,779,200	0.500000	2024/12/20	0.72
日本	国債証券	第341回利付国債(10年)	4,120,000,000	102.56	4,225,593,000	102.51	4,223,453,200	0.300000	2025/12/20	0.72
日本	国債証券	第392回利付国債(2年)	4,200,000,000	100.41	4,217,314,000	100.44	4,218,732,000	0.100000	2020/9/1	0.72
日本	国債証券	第349回利付国債(10年)	4,190,000,000	100.64	4,216,951,900	100.58	4,214,553,400	0.100000	2027/12/20	0.72
日本	国債証券	第132回利付国債(5年)	4,150,000,000	100.84	4,184,860,000	100.80	4,183,241,500	0.100000	2022/6/20	0.71

(注) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該銘柄の評価金額の比率です。

b 全銘柄の種類 / 業種別投資比率

平成30年11月30日現在

種類	投資比率(%)
国債証券	82.40

地方債証券	5.18
特殊債券	6.45
社債券	4.82
合計	98.85

（注）投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該種類または業種の評価金額の比率です。

投資不動産物件

該当事項はありません。

その他投資資産の主要なもの

平成30年11月30日現在

資産の種類	取引所名	資産の名称	建別	数量	通貨	簿価金額（円）	評価金額（円）	投資比率（％）
債券先物取引	大阪取引所	長期国債先物18年12月限	買建	14	円	2,101,235,120	2,116,380,000	0.36

（注1）投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該投資資産の評価金額の比率です。

（注2）平成30年2月28日より、国内債券先物の数量は「額面÷所定倍数÷100」にて算出しております。

TOPIXマザーファンド

投資状況

平成30年11月30日現在

（単位：円）

資産の種類	国/地域	時価合計	投資比率（％）
株式	日本	227,713,702,520	98.49
コール・ローン、その他資産 （負債控除後）		3,496,680,972	1.51
純資産総額		231,210,383,492	100.00

（注）投資比率とは、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率をいいます。

その他の資産の投資状況

平成30年11月30日現在

（単位：円）

資産の種類	建別	国/地域	時価合計	投資比率（％）
株価指数先物取引	買建	日本	3,502,800,000	1.51

（注）投資比率とは、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率をいいます。

投資資産

投資有価証券の主要銘柄

a 評価額上位30銘柄

平成30年11月30日現在

国/地域	種類	銘柄名	業種	数量	簿価単価(円)	簿価金額(円)	評価単価(円)	評価金額(円)	投資比率(%)
日本	株式	トヨタ自動車	輸送用機器	1,074,600	6,820.45	7,329,259,500	6,803.00	7,310,503,800	3.16
日本	株式	三菱UFJフィナンシャル・グループ	銀行業	6,623,700	688.00	4,557,156,891	624.50	4,136,500,650	1.79
日本	株式	ソニー	電気機器	646,400	5,391.84	3,485,287,869	5,937.00	3,837,676,800	1.66
日本	株式	ソフトバンクグループ	情報・通信業	395,400	8,536.98	3,375,524,340	9,526.00	3,766,580,400	1.63
日本	株式	日本電信電話	情報・通信業	647,200	4,957.77	3,208,675,026	4,680.00	3,028,896,000	1.31
日本	株式	キーエンス	電気機器	47,300	63,824.69	3,018,908,116	61,600.00	2,913,680,000	1.26
日本	株式	三井住友フィナンシャルグループ	銀行業	670,300	4,464.63	2,992,647,620	4,183.00	2,803,864,900	1.21
日本	株式	本田技研工業	輸送用機器	813,500	3,470.32	2,823,107,969	3,202.00	2,604,827,000	1.13
日本	株式	みずほフィナンシャルグループ	銀行業	12,923,700	192.26	2,484,747,690	188.30	2,433,532,710	1.05
日本	株式	KDDI	情報・通信業	833,900	2,781.91	2,319,835,615	2,664.00	2,221,509,600	0.96
日本	株式	リクルートホールディングス	サービス業	660,100	2,785.92	1,838,986,072	3,123.00	2,061,492,300	0.89
日本	株式	任天堂	その他製品	59,400	44,924.40	2,668,509,417	34,610.00	2,055,834,000	0.89
日本	株式	三菱商事	卸売業	666,500	2,963.93	1,975,463,740	3,062.00	2,040,823,000	0.88
日本	株式	東海旅客鉄道	陸運業	86,300	20,574.34	1,775,566,004	23,325.00	2,012,947,500	0.87
日本	株式	セブン&アイ・ホールディングス	小売業	398,100	4,548.13	1,810,612,965	4,943.00	1,967,808,300	0.85
日本	株式	花王	化学	234,100	7,814.23	1,829,311,840	8,358.00	1,956,607,800	0.85
日本	株式	東京海上ホールディングス	保険業	344,700	5,000.16	1,723,555,905	5,605.00	1,932,043,500	0.84
日本	株式	NTTドコモ	情報・通信業	679,400	2,752.04	1,869,736,018	2,628.50	1,785,802,900	0.77
日本	株式	ファナック	電気機器	91,600	24,867.79	2,277,889,732	19,390.00	1,776,124,000	0.77
日本	株式	東日本旅客鉄道	陸運業	171,500	9,914.30	1,700,303,478	10,320.00	1,769,880,000	0.77
日本	株式	日本電産	電気機器	116,000	16,042.05	1,860,877,800	15,120.00	1,753,920,000	0.76
日本	株式	村田製作所	電気機器	101,200	15,117.87	1,529,929,017	17,315.00	1,752,278,000	0.76
日本	株式	信越化学工業	化学	166,400	10,644.48	1,771,242,785	10,135.00	1,686,464,000	0.73
日本	株式	キヤノン	電気機器	519,100	3,744.46	1,943,754,210	3,220.00	1,671,502,000	0.72
日本	株式	ダイキン工業	機械	131,600	12,296.49	1,618,218,665	12,610.00	1,659,476,000	0.72
日本	株式	武田薬品工業	医薬品	380,700	5,150.39	1,960,755,278	4,255.00	1,619,878,500	0.70
日本	株式	日本たばこ産業	食料品	558,900	2,936.23	1,641,062,924	2,823.50	1,578,054,150	0.68
日本	株式	アステラス製薬	医薬品	889,100	1,669.51	1,484,364,276	1,744.50	1,551,034,950	0.67
日本	株式	三菱電機	電気機器	964,300	1,622.45	1,564,529,619	1,498.00	1,444,521,400	0.62
日本	株式	日立製作所	電気機器	434,100	3,804.92	1,651,715,935	3,288.00	1,427,320,800	0.62

(注) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該銘柄の評価金額の比率です。

b 全銘柄の種類/業種別投資比率

平成30年11月30日現在

種類	業種	投資比率(%)
----	----	---------

株式	水産・農林業	0.12
	鉱業	0.31
	建設業	2.93
	食料品	4.31
	繊維製品	0.66
	パルプ・紙	0.28
	化学	7.22
	医薬品	5.15
	石油・石炭製品	0.74
	ゴム製品	0.81
	ガラス・土石製品	0.90
	鉄鋼	0.99
	非鉄金属	0.79
	金属製品	0.59
	機械	4.99
	電気機器	12.80
	輸送用機器	7.92
	精密機器	1.81
	その他製品	2.05
	電気・ガス業	1.87
	陸運業	4.52
	海運業	0.17
	空運業	0.59
	倉庫・運輸関連業	0.19
	情報・通信業	7.44
	卸売業	4.89
	小売業	5.21
	銀行業	6.60
	証券、商品先物取引業	0.92
	保険業	2.36
	その他金融業	1.19
不動産業	2.39	
サービス業	4.78	
	小計	98.49
合計		98.49

（注）投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該種類または業種の評価金額の比率です。

投資不動産物件

該当事項はありません。

その他投資資産の主要なもの

平成30年11月30日現在

資産の種類	取引所名	資産の名称	建別	数量	通貨	簿価金額（円）	評価金額（円）	投資比率（％）
株価指数先物取引	大阪取引所	TOPIX 18年12月限	買建	210	円	3,416,438,400	3,502,800,000	1.51

（注）投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該投資資産の評価金額の比率です。

外国債券インデックスマザーファンド

投資状況

平成30年11月30日現在

（単位：円）

資産の種類	国/地域	時価合計	投資比率（％）
国債証券	アメリカ	56,413,376,008	45.49
	フランス	12,411,229,057	10.01
	イタリア	10,891,543,034	8.78
	ドイツ	8,371,987,386	6.75
	イギリス	7,968,369,742	6.43
	スペイン	7,233,836,393	5.83
	ベルギー	2,977,180,946	2.40
	オランダ	2,602,459,957	2.10
	オーストラリア	2,601,523,640	2.10
	カナダ	2,468,782,325	1.99
	オーストリア	1,787,778,513	1.44
	アイルランド	953,505,028	0.77
	メキシコ	944,426,396	0.76
	フィンランド	752,404,781	0.61
	デンマーク	732,647,139	0.59
	南アフリカ	727,109,943	0.59
	ポーランド	705,042,774	0.57
	マレーシア	523,655,222	0.42
	シンガポール	470,900,794	0.38
スウェーデン	440,472,400	0.36	
ノルウェー	279,024,049	0.23	
	小計	122,257,255,527	98.59
コール・ローン、その他資産 （負債控除後）		1,749,178,918	1.41
純資産総額		124,006,434,445	100.00

（注）投資比率とは、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率をいいます。

投資資産

投資有価証券の主要銘柄

a 評価額上位30銘柄

平成30年11月30日現在

国/ 地域	種類	銘柄名	数量	簿価 単価 (円)	簿価 金額 (円)	評価 単価 (円)	評価 金額 (円)	利率 (%)	償還期限 (年/月/日)	投資 比率 (%)
アメリカ	国債証券	2.75 T-NOTE 210815	13,020,000	11,355.36	1,478,468,941	11,321.73	1,474,089,921	2.750000	2021/8/15	1.19
アメリカ	国債証券	1.625 T-NOTE 220831	7,640,000	10,805.33	825,527,905	10,852.34	829,118,906	1.625000	2022/8/31	0.67
アメリカ	国債証券	2.75 T-NOTE 280215	7,360,000	11,068.50	814,642,051	11,092.57	816,413,813	2.750000	2028/2/15	0.66
アメリカ	国債証券	2.75 T-NOTE 250831	5,840,000	11,139.32	650,536,310	11,213.14	654,847,427	2.750000	2025/8/31	0.53
アメリカ	国債証券	2.375 T-NOTE 230131	5,000,000	11,088.51	554,425,767	11,132.47	556,623,539	2.375000	2023/1/31	0.45
アメリカ	国債証券	2 T-NOTE 261115	5,150,000	10,517.53	541,653,017	10,553.59	543,510,219	2.000000	2026/11/15	0.44
アメリカ	国債証券	1.75 T-NOTE 220630	4,900,000	10,887.44	533,484,879	10,925.91	535,370,076	1.750000	2022/6/30	0.43
アメリカ	国債証券	2.125 T-NOTE 250515	4,900,000	10,763.69	527,420,970	10,806.24	529,505,981	2.125000	2025/5/15	0.43
アメリカ	国債証券	2.25 T-NOTE 270215	4,750,000	10,711.56	508,799,480	10,730.00	509,675,327	2.250000	2027/2/15	0.41
アメリカ	国債証券	2.25 T-NOTE 241115	4,650,000	10,897.55	506,736,187	10,936.55	508,549,935	2.250000	2024/11/15	0.41
アメリカ	国債証券	2 T-NOTE 250815	4,700,000	10,650.61	500,578,844	10,696.32	502,727,062	2.000000	2025/8/15	0.41
アメリカ	国債証券	2.125 T-NOTE 210815	4,500,000	11,108.61	499,887,546	11,138.67	501,240,428	2.125000	2021/8/15	0.40
アメリカ	国債証券	2.5 T-NOTE 240515	4,350,000	11,100.55	482,874,244	11,122.71	483,838,296	2.500000	2024/5/15	0.39
フランス	国債証券	4.25 O.A.T 231025	2,950,000	15,836.18	467,167,538	15,688.21	462,802,298	4.250000	2023/10/25	0.37
アメリカ	国債証券	2.25 T-NOTE 270815	4,290,000	10,688.27	458,526,983	10,683.02	458,301,694	2.250000	2027/8/15	0.37
フランス	国債証券	4.5 O.A.T 410425	2,190,000	20,768.18	454,823,343	20,635.51	451,917,860	4.500000	2041/4/25	0.36
フランス	国債証券	1.5 O.A.T 310525	3,260,000	13,708.76	446,905,870	13,797.25	449,790,659	1.500000	2031/5/25	0.36
フランス	国債証券	5.75 O.A.T 321025	2,140,000	21,085.12	451,221,651	20,982.23	449,019,911	5.750000	2032/10/25	0.36
アメリカ	国債証券	1.5 T-NOTE 260815	4,250,000	10,130.60	430,550,568	10,202.54	433,608,318	1.500000	2026/8/15	0.35
フランス	国債証券	3 O.A.T 220425	3,000,000	14,540.59	436,217,786	14,389.95	431,698,720	3.000000	2022/4/25	0.35
アメリカ	国債証券	1.5 T-NOTE 191031	3,800,000	11,209.45	425,959,198	11,223.33	426,486,745	1.500000	2019/10/31	0.34
アメリカ	国債証券	1.5 T-NOTE 200615	3,800,000	11,100.67	421,825,610	11,124.93	422,747,553	1.500000	2020/6/15	0.34
イタリア	国債証券	4.75 ITALY GOVT 210901	3,000,000	14,851.03	445,531,093	14,014.91	420,447,563	4.750000	2021/9/1	0.34
アメリカ	国債証券	2.375 T-NOTE 240815	3,800,000	11,002.15	418,081,987	11,033.18	419,261,012	2.375000	2024/8/15	0.34
アメリカ	国債証券	1.375 T-NOTE 210131	3,800,000	10,962.92	416,591,247	11,003.93	418,149,360	1.375000	2021/1/31	0.34
フランス	国債証券	6 O.A.T 251025	2,300,000	18,286.09	420,580,190	18,036.21	414,832,966	6.000000	2025/10/25	0.33
アメリカ	国債証券	2.75 T-NOTE 231115	3,650,000	11,272.68	411,452,999	11,286.71	411,965,245	2.750000	2023/11/15	0.33
フランス	国債証券	3.5 O.A.T 260425	2,550,000	15,997.59	407,938,741	15,989.79	407,739,763	3.500000	2026/4/25	0.33
アメリカ	国債証券	2.25 T-NOTE 251115	3,750,000	10,821.79	405,817,303	10,846.13	406,730,112	2.250000	2025/11/15	0.33
アメリカ	国債証券	2.875 T-NOTE 280515	3,600,000	11,380.05	409,681,891	11,198.95	403,162,456	2.875000	2028/5/15	0.33

(注) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該銘柄の評価金額の比率です。

b 全銘柄の種類 / 業種別投資比率

平成30年11月30日現在

種類	投資比率（％）
国債証券	98.59
合計	98.59

（注）投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該種類または業種の評価金額の比率です。

投資不動産物件

該当事項はありません。

その他投資資産の主要なもの

該当事項はありません。

外国株式インデックスマザーファンド

投資状況

平成30年11月30日現在

（単位：円）

資産の種類	国／地域	時価合計	投資比率（％）
株式	アメリカ	207,240,188,132	63.31
	イギリス	19,962,522,832	6.10
	フランス	11,453,284,627	3.50
	カナダ	11,336,378,876	3.46
	ドイツ	10,287,748,978	3.14
	スイス	10,105,801,262	3.09
	オーストラリア	7,494,786,212	2.29
	オランダ	4,758,081,734	1.45
	香港	3,756,220,547	1.15
	スペイン	3,579,117,468	1.09
	スウェーデン	3,081,826,310	0.94
	イタリア	2,185,633,588	0.67
	デンマーク	1,987,169,218	0.61
	シンガポール	1,388,181,342	0.42
	フィンランド	1,163,261,777	0.36
	ベルギー	1,153,599,623	0.35
	ノルウェー	868,506,399	0.27
	アイルランド	563,698,237	0.17
	イスラエル	342,699,589	0.10
	ルクセンブルグ	313,841,215	0.10
オーストリア	275,801,720	0.08	
ニュージーランド	254,443,274	0.08	

	ポルトガル	185,581,036	0.06
	小計	303,738,373,996	92.79
投資証券	アメリカ	6,146,886,426	1.88
	オーストラリア	558,694,621	0.17
	イギリス	232,420,258	0.07
	オランダ	212,053,316	0.06
	フランス	182,894,944	0.06
	香港	180,638,617	0.06
	シンガポール	130,901,794	0.04
	カナダ	66,188,712	0.02
	小計	7,710,678,688	2.36
コール・ローン、その他資産 (負債控除後)		15,905,938,473	4.85
純資産総額		327,354,991,157	100.00

(注) 投資比率とは、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率をいいます。

その他の資産の投資状況

平成30年11月30日現在

(単位：円)

資産の種類	建別	国/地域	時価合計	投資比率(%)
株価指数先物取引	買建	アメリカ	10,680,678,629	3.26
	買建	カナダ	530,263,442	0.16
	買建	ドイツ	2,102,226,188	0.64
	買建	オーストラリア	692,197,636	0.21
	買建	イギリス	992,776,162	0.30
	買建	スイス	491,337,264	0.15

(注) 投資比率とは、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価の比率をいいます。

投資資産

投資有価証券の主要銘柄

a 評価額上位30銘柄

平成30年11月30日現在

国/地域	種類	銘柄名	業種	数量	簿価単価(円)	簿価金額(円)	評価単価(円)	評価金額(円)	投資比率(%)
アメリカ	株式	APPLE INC	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	380,480	21,965.52	8,357,442,038	20,373.53	7,751,723,928	2.37
アメリカ	株式	MICROSOFT CORP	ソフトウェア・サービス	564,762	11,417.35	6,448,086,212	12,503.25	7,061,365,729	2.16
アメリカ	株式	AMAZON.COM INC	小売	31,931	189,484.68	6,050,435,563	189,899.98	6,063,696,514	1.85

アメリカ	株式	JOHNSON & JOHNSON	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	207,637	14,622.87	3,036,250,706	16,549.59	3,436,309,191	1.05
アメリカ	株式	JPMORGAN CHASE & CO	銀行	263,605	12,895.86	3,399,414,625	12,488.50	3,292,033,204	1.01
アメリカ	株式	ALPHABET INC-CL C	メディア・娯楽	24,312	127,013.77	3,087,959,000	123,489.40	3,002,274,317	0.92
アメリカ	株式	EXXON MOBIL CORP	エネルギー	327,877	9,261.42	3,036,607,064	8,970.93	2,941,364,304	0.90
アメリカ	株式	FACEBOOK INC-CLASS A	メディア・娯楽	185,641	20,930.67	3,885,591,661	15,736.01	2,921,250,415	0.89
アメリカ	株式	ALPHABET INC-CL A	メディア・娯楽	23,110	127,781.97	2,953,041,352	124,201.99	2,870,308,049	0.88
アメリカ	株式	BERKSHIRE HATHAWAY INC-CL B	各種金融	98,984	22,788.18	2,255,665,219	24,702.41	2,445,144,242	0.75
アメリカ	株式	UNITEDHEALTH GROUP INC	ヘルスケア機器・サービス	74,410	27,676.46	2,059,405,962	32,060.94	2,385,655,178	0.73
アメリカ	株式	BANK OF AMERICA CORP	銀行	745,822	3,482.39	2,597,246,281	3,181.69	2,372,980,962	0.72
スイス	株式	NESTLE SA-REG	食品・飲料・タバコ	241,060	8,913.81	2,148,764,003	9,704.28	2,339,313,737	0.71
アメリカ	株式	PFIZER INC	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	452,849	4,176.83	1,891,473,606	5,164.01	2,338,521,157	0.71
アメリカ	株式	WELLS FARGO & CO	銀行	358,437	6,205.67	2,224,343,279	6,131.91	2,197,906,579	0.67
アメリカ	株式	VISA INC-CLASS A SHARES	ソフトウェア・サービス	138,054	15,267.38	2,107,724,052	15,783.67	2,178,999,745	0.67
アメリカ	株式	VERIZON COMMUNICATIONS INC	電気通信サービス	319,963	5,636.05	1,803,329,034	6,745.79	2,158,403,686	0.66
アメリカ	株式	PROCTER & GAMBLE CO/THE	家庭用品・パーソナル用品	194,642	8,571.52	1,668,378,536	10,532.28	2,050,025,095	0.63
アメリカ	株式	CHEVRON CORP	エネルギー	148,002	14,496.92	2,145,574,220	13,485.90	1,995,941,578	0.61
アメリカ	株式	CISCO SYSTEMS INC	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	363,974	5,192.38	1,889,893,939	5,371.66	1,955,148,144	0.60
アメリカ	株式	INTEL CORP	半導体・半導体製造装置	360,728	6,043.41	2,180,027,996	5,412.51	1,952,447,154	0.60
アメリカ	株式	AT&T INC	電気通信サービス	562,176	3,614.01	2,031,715,027	3,468.77	1,950,063,685	0.60
アメリカ	株式	MERCK & CO. INC.	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	208,280	6,989.75	1,455,825,547	8,840.44	1,841,288,447	0.56
アメリカ	株式	HOME DEPOT INC	小売	89,359	21,833.89	1,951,055,238	19,932.14	1,781,116,116	0.54
アメリカ	株式	COCA-COLA CO/THE	食品・飲料・タバコ	313,028	4,876.94	1,526,618,962	5,557.76	1,739,734,685	0.53
スイス	株式	NOVARTIS AG-REG	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	167,972	8,949.12	1,503,202,089	10,292.00	1,728,768,496	0.53
アメリカ	株式	BOEING CO/THE	資本財	42,868	39,327.56	1,685,894,155	38,870.28	1,666,291,300	0.51
アメリカ	株式	MASTERCARD INC - A	ソフトウェア・サービス	71,643	22,425.07	1,606,599,727	22,315.01	1,598,714,276	0.49
アメリカ	株式	COMCAST CORP-CLASS A	メディア・娯楽	355,656	3,703.66	1,317,229,186	4,472.98	1,590,844,807	0.49
スイス	株式	ROCHE HOLDING AG-GENUSSCHEIN	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	54,422	25,699.25	1,398,604,964	28,953.37	1,575,700,846	0.48

（注）投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該銘柄の評価金額の比率です。

b 全銘柄の種類 / 業種別投資比率

平成30年11月30日現在

種類	業種	投資比率（％）
株式	エネルギー	6.22
	素材	4.17
	資本財	6.57
	商業・専門サービス	1.06
	運輸	1.97
	自動車・自動車部品	1.19
	耐久消費財・アパレル	1.63
	消費者サービス	1.83
	メディア・娯楽	5.40
	小売	4.38
	食品・生活必需品小売り	1.51
	食品・飲料・タバコ	4.69
	家庭用品・パーソナル用品	1.95
	ヘルスケア機器・サービス	4.84
	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	8.44
	銀行	8.30
	各種金融	4.19
	保険	3.65
	不動産	0.58
	ソフトウェア・サービス	7.91
	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	4.07
電気通信サービス	2.45	
公益事業	3.13	
半導体・半導体製造装置	2.66	
	小計	92.79
投資証券		2.36
合計		95.14

（注）投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該種類または業種の評価金額の比率です。

投資不動産物件

該当事項はありません。

その他投資資産の主要なもの

平成30年11月30日現在

資産の種類	地域	取引所名	資産の名称	建別	数量	通貨	簿価金額	簿価金額(円)	評価金額	評価金額(円)	投資比率(%)
株価指数先物取引	アメリカ	シカゴ商業取引所	SP EMINI1812	買建	686	アメリカドル	93,475,584.5	10,606,674,573	94,127,775	10,680,678,629	3.26
	カナダ	モントリオール取引所	SP/TSE601812	買建	34	カナダドル	6,124,107.5	523,121,262	6,207,720	530,263,442	0.16
	ドイツ	ユーレックス・ドイツ金融先物取引所	EURO ST 1812	買建	513	ユーロ	16,343,180.75	2,111,375,521	16,272,360	2,102,226,188	0.64
	オーストラリア	シドニー先物取引所	SPI 200 1812	買建	58	オーストラリアドル	8,359,782	694,530,689	8,331,700	692,197,636	0.21
	イギリス	インターコンチネンタル取引所	FTSE100 1812	買建	97	イギリスポンド	6,811,317.8	987,709,194	6,846,260	992,776,162	0.30
	スイス	ユーレックス・チューリッヒ取引所	SWISS IX1812	買建	48	スイスフラン	4,245,762.8	483,592,383	4,313,760	491,337,264	0.15

(注) 投資比率は、ファンドの純資産総額に対する当該投資資産の評価金額の比率です。

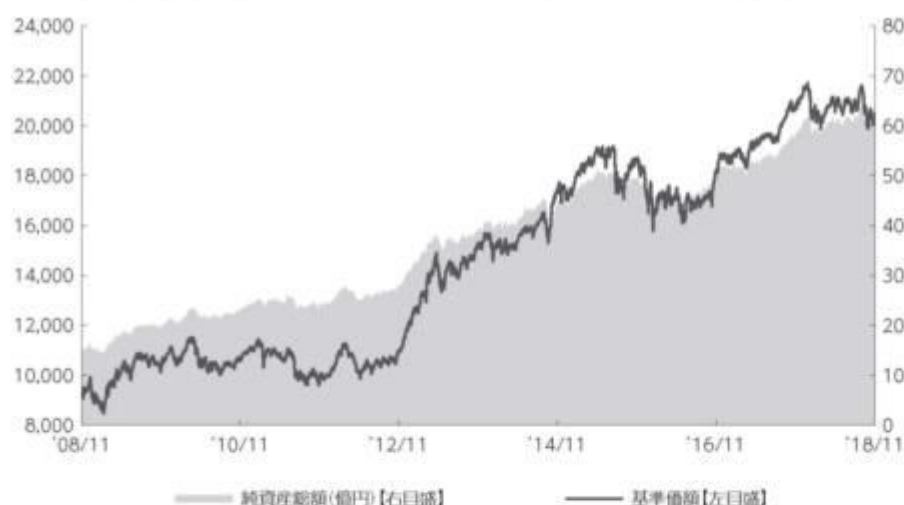
参考情報



運用実績

2018年11月30日現在

■基準価額・純資産の推移 2008年11月28日～2018年11月30日



■基準価額・純資産

基準価額	20,517円
純資産総額	61.4億円

■分配の推移

2018年 5月	0円
2017年 5月	0円
2016年 5月	0円
2015年 5月	0円
2014年 5月	0円
2013年 5月	0円
設定来累計	50円

●分配金は1万円当たり、税引前

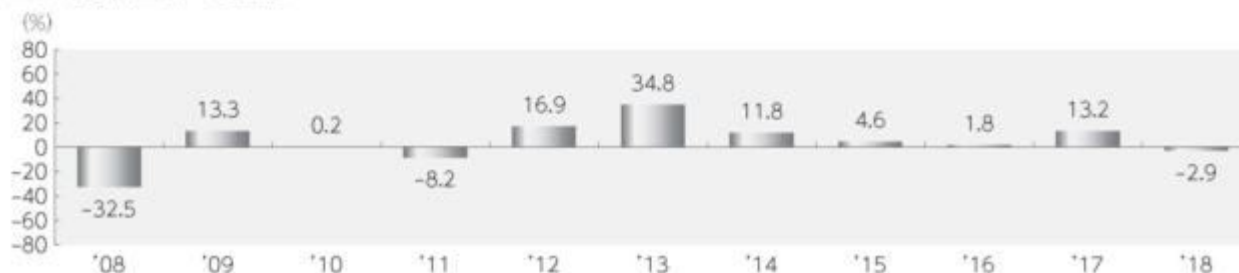
■主要な資産の状況

資産別構成	比率	通貨別構成	比率	組入上位銘柄	種類	業種/種別	国・地域	比率
国内株式	39.5%	円	69.8%	トヨタ自動車	株式	輸送用機器	日本	1.3%
国内債券	26.3%	アメリカドル	19.7%	三菱UFJフィナンシャル・グループ	株式	銀行業	日本	0.7%
外国株式	24.1%	ユーロ	4.9%	ソニー	株式	電気機器	日本	0.7%
外国債券	4.9%	イギリスポンド	2.0%	ソフトバンクグループ	株式	情報・通信業	日本	0.7%
		カナダドル	1.0%	APPLE INC	株式	テクノロジー/ハードウェアおよび機器	アメリカ	0.6%
		スイスフラン	0.8%	第312回利付国債(10年)	債券	国債	日本	0.3%
		オーストラリアドル	0.8%	第134回利付国債(5年)	債券	国債	日本	0.3%
		香港ドル	0.3%	第329回利付国債(10年)	債券	国債	日本	0.3%
コールローン他 (負債控除後)	5.2%	その他	0.7%	第133回利付国債(5年)	債券	国債	日本	0.3%
合計	100.0%	合計	100.0%	第333回利付国債(10年)	債券	国債	日本	0.3%

その他資産の状況	比率
株価指数先物取引 (買建)	1.8%
債券先物取引 (買建)	0.1%

- 各比率はファンドの純資産総額に対する投資比率(小数点第二位四捨五入)
- 投資信託証券(リートを含む)の組入れがある場合、株式に含めて表示
- コールローン他には未収・未払項目が含まれるため、マイナスとなる場合があります。
- 国内株式の業種は、東京証券取引所の33業種分類によるもの
- 外国株式の業種は、GICS(世界産業分類基準)によるもの。Global Industry Classification Standard ("GICS")は、MSCI Inc.とS&Pが開発した業種分類です。GICSに関する知的財産所有権はMSCI Inc.およびS&Pに帰属します。

■年間収益率の推移



- 収益率は基準価額で計算
- 2018年は年初から11月30日までの収益率を表示

上記は、過去の実績であり、将来の投資成果を保証するものではありません。
運用状況等は、委託会社のホームページ等で開示している場合があります。

第2【管理及び運営】

3【資産管理等の概要】

(3)【信託期間】

<訂正前>

無期限（平成13年12月19日設定）

ただし、後記「ファンドの償還条件等」の規定によりファンドを償還させることがあります。

<訂正後>

無期限（2001年12月19日設定）

ただし、後記「ファンドの償還条件等」の規定によりファンドを償還させることがあります。

第3【ファンドの経理状況】

1 当ファンドの中間財務諸表は、「中間財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（昭和52年大蔵省令第38号）ならびに同規則第38条の3および第57条の2の規定により、「投資信託財産の計算に関する規則」（平成12年総理府令第133号）に基づいて作成しております。

なお、中間財務諸表に記載している金額は、円単位で表示しております。

2 当ファンドは、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、当中間計算期間（平成30年5月15日から平成30年11月14日まで）の中間財務諸表について、PwCあらた有限責任監査法人により中間監査を受けております。

【中間財務諸表】

【三菱UFJ <DC>インデックス・ライフ・バランス ファンド（積極型）】

(1)【中間貸借対照表】

(単位：円)

	第17期 [平成30年5月14日現在]	第18期中間計算期間末 [平成30年11月14日現在]
資産の部		
流動資産		
コール・ローン	195,438,686	196,781,649
親投資信託受益証券	5,933,191,575	5,880,726,688
未収入金	4,754,000	-
流動資産合計	6,133,384,261	6,077,508,337
負債の部		
流動負債		
未払解約金	6,479,968	694,022
未払受託者報酬	1,610,008	1,666,350
未払委託者報酬	10,303,984	10,664,533
未払利息	253	439
その他未払費用	115,860	120,403
流動負債合計	18,510,073	13,145,747
純資産の部		
元本等		
元本	2,903,006,556	2,977,004,741
剰余金		
中間剰余金又は中間欠損金（ ）	3,211,867,632	3,087,357,849
（分配準備積立金）	1,548,109,955	1,464,057,155
元本等合計	6,114,874,188	6,064,362,590
純資産合計	6,114,874,188	6,064,362,590
負債純資産合計	6,133,384,261	6,077,508,337

(2)【中間損益及び剰余金計算書】

(単位：円)

	第17期中間計算期間 自平成29年5月13日 至平成29年11月12日	第18期中間計算期間 自平成30年5月15日 至平成30年11月14日
営業収益		
受取利息	818	238

	第17期中間計算期間 自 平成29年 5月13日 至 平成29年11月12日	第18期中間計算期間 自 平成30年 5月15日 至 平成30年11月14日
有価証券売買等損益	438,418,795	191,095,887
営業収益合計	438,419,613	191,095,649
営業費用		
支払利息	49,594	62,742
受託者報酬	1,476,878	1,666,350
委託者報酬	9,451,967	10,664,533
その他費用	106,275	120,403
営業費用合計	11,084,714	12,514,028
営業利益又は営業損失（ ）	427,334,899	203,609,677
経常利益又は経常損失（ ）	427,334,899	203,609,677
中間純利益又は中間純損失（ ）	427,334,899	203,609,677
一部解約に伴う中間純利益金額の分配額又は一部解約に伴う中間純損失金額の分配額（ ）	11,218,039	2,494,446
期首剰余金又は期首欠損金（ ）	2,539,781,602	3,211,867,632
剰余金増加額又は欠損金減少額	263,297,079	257,736,392
中間追加信託に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額	263,297,079	257,736,392
剰余金減少額又は欠損金増加額	202,712,840	181,130,944
中間一部解約に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額	202,712,840	181,130,944
分配金	-	-
中間剰余金又は中間欠損金（ ）	3,016,482,701	3,087,357,849

(3) 【中間注記表】

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

1. 有価証券の評価基準及び評価方法	親投資信託受益証券は時価で評価しております。時価評価にあたっては、基準価額で評価しております。
2. その他財務諸表作成のための基本となる重要な事項	ファンドの計算期間 当ファンドは、原則として毎年5月12日を計算期間の末日としておりますが、前計算期間においては当該日が休業日のため、当中間計算期間は平成30年 5月15日から平成30年11月14日までとなっております。

(中間貸借対照表に関する注記)

	第17期 [平成30年 5月14日現在]	第18期中間計算期間末 [平成30年11月14日現在]
1. 期首元本額	2,726,797,808円	2,903,006,556円
期中追加設定元本額	553,502,152円	237,886,709円
期中一部解約元本額	377,293,404円	163,888,524円
2. 受益権の総数	2,903,006,556口	2,977,004,741口

(中間損益及び剰余金計算書に関する注記)

<p>第17期中間計算期間</p> <p>自 平成29年 5月13日</p> <p>至 平成29年11月12日</p>	<p>第18期中間計算期間</p> <p>自 平成30年 5月15日</p> <p>至 平成30年11月14日</p>
該当事項はありません。	該当事項はありません。

（金融商品に関する注記）

金融商品の時価等に関する事項

区分	第17期 [平成30年 5月14日現在]	第18期中間計算期間末 [平成30年11月14日現在]
1. 中間貸借対照表計上額、時価及びその差額	時価で計上しているためその差額はありません。	同左
2. 時価の算定方法	<p>(1) 有価証券</p> <p>売買目的有価証券は、（重要な会計方針に係る事項に関する注記）に記載しております。</p> <p>(2) デリバティブ取引</p> <p>デリバティブ取引は、該当事項はありません。</p> <p>(3) 上記以外の金融商品</p> <p>上記以外の金融商品（コールローン等）は、短期間で決済され、時価は帳簿価額と近似していることから、当該金融商品の帳簿価額を時価としております。</p>	<p>(1) 有価証券</p> <p>同左</p> <p>(2) デリバティブ取引</p> <p>同左</p> <p>(3) 上記以外の金融商品</p> <p>同左</p>
3. 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。	同左

（有価証券に関する注記）

該当事項はありません。

（デリバティブ取引に関する注記）

取引の時価等に関する事項

該当事項はありません。

（1口当たり情報）

	第17期 [平成30年 5月14日現在]	第18期中間計算期間末 [平成30年11月14日現在]
1口当たり純資産額	2,1064円	2,0371円
(1万口当たり純資産額)	(21,064円)	(20,371円)

(参考)

当ファンドの主要投資対象の状況は以下の通りです。
なお、以下に記載した情報は、監査の対象外であります。

日本債券インデックスマザーファンド

貸借対照表

(単位：円)

[平成30年11月14日現在]

資産の部	
流動資産	
コール・ローン	3,929,876,756
国債証券	487,201,382,250
地方債証券	30,973,306,658
特殊債券	38,571,715,137
社債券	27,637,607,010
派生商品評価勘定	10,524,880
未収利息	1,200,395,854
前払費用	74,097,129
差入委託証拠金	5,460,000
流動資産合計	589,604,365,674
資産合計	
589,604,365,674	
負債の部	
流動負債	
前受金	9,980,000
未払金	2,289,188,100
未払解約金	192,608,461
未払利息	8,771
その他未払費用	10,809
流動負債合計	2,491,796,141
負債合計	
2,491,796,141	
純資産の部	
元本等	
元本	443,990,761,458
剰余金	
剰余金又は欠損金()	143,121,808,075
元本等合計	587,112,569,533
純資産合計	
587,112,569,533	
負債純資産合計	
589,604,365,674	

注記表

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

1. 有価証券の評価基準及び評価方法	公社債は時価で評価しております。時価評価にあたっては、価格情報会社等の提供する理論価格で評価しております。
2. デリバティブ等の評価基準及び評価方法	先物取引は金融商品取引所等における清算値段で評価しております。

(貸借対照表に関する注記)

	[平成30年11月14日現在]
1. 期首	平成30年 5月15日
期首元本額	409,751,145,196円
期中追加設定元本額	125,336,632,936円
期中一部解約元本額	91,097,016,674円
元本の内訳	
ファンド・マネジャー(国内債券)	100,159,415,865円
eMAXIS 国内債券インデックス	10,403,599,564円
eMAXIS バランス(8資産均等型)	2,396,764,121円
eMAXIS バランス(波乗り型)	678,261,876円
コアバランス	2,243,366円
三菱UFJ ターゲット・イヤー・ファンド2030(確定拠出年金)	121,768,569円
三菱UFJ ターゲット・イヤー・ファンド2040(確定拠出年金)	78,344,768円
三菱UFJ ターゲット・イヤー・ファンド2050(確定拠出年金)	35,483,177円
eMAXIS Slim 国内債券インデックス	1,603,519,790円
国内債券セレクション(ラップ向け)	3,420,984,719円
eMAXIS Slim バランス(8資産均等型)	1,549,037,156円
つみたて8資産均等バランス	362,989,222円
つみたて4資産均等バランス	88,079,445円
eMAXIS マイマネージャー 1970s	2,624,471円
eMAXIS マイマネージャー 1980s	588,338円
eMAXIS マイマネージャー 1990s	50,146円
三菱UFJ ターゲット・イヤー・ファンド2035(確定拠出年金)	10,417,892円
三菱UFJ ターゲット・イヤー・ファンド2045(確定拠出年金)	5,076,830円
三菱UFJ ターゲット・イヤー・ファンド2055(確定拠出年金)	3,083,540円
三菱UFJ バランス・イノベーション(株式抑制型)	11,632,913,646円
三菱UFJ バランス・イノベーション(株式重視型)	11,883,595,836円
三菱UFJ バランス・イノベーション(新興国投資型)	2,314,500,849円
三菱UFJ DCバランス・イノベーション(KAKUSHIN)	2,065,015,829円
三菱UFJ バランス・イノベーション(債券重視型)	8,115,660,700円
三菱UFJ アドバンスト・バランス(安定型)	263,889,411円

	[平成30年11月14日現在]
三菱UFJ アドバンスト・バランス(安定成長型)	306,677,288円
eMAXIS 債券バランス(2資産均等型)	72,816,022円
eMAXIS バランス(4資産均等型)	243,868,786円
eMAXIS 最適化バランス(マイゴールキーパー)	292,589,799円
eMAXIS 最適化バランス(マイディフェンダー)	213,542,699円
eMAXIS 最適化バランス(マイミッドフィルダー)	424,592,963円
eMAXIS 最適化バランス(マイフォワード)	49,833,518円
eMAXIS 最適化バランス(マイストライカー)	11,001,001円
三菱UFJ バランスファンド45VA(適格機関投資家限定)	112,618,085円
三菱UFJ バランスファンド40VA(適格機関投資家限定)	12,885,045,712円
三菱UFJ バランスファンドVA 20型(適格機関投資家限定)	1,405,164,351円
三菱UFJ バランスファンドVA 40型(適格機関投資家限定)	5,512,461,337円
MUAM 日本債券インデックスファンド(適格機関投資家限定)	192,896,039,824円
三菱UFJ バランスファンドVA 50型(適格機関投資家限定)	595,579,079円
三菱UFJ バランスファンドVA 75型(適格機関投資家限定)	16,403,109円
三菱UFJ バランスファンド55VA(適格機関投資家限定)	27,080,570円
三菱UFJ バランスファンドVA 45型(適格機関投資家限定)	168,253,050円
三菱UFJ バランスファンドVA 30型(適格機関投資家限定)	38,095,989円
三菱UFJ バランスファンド50VA(適格機関投資家限定)	5,120,580,098円
三菱UFJ バランスファンド20VA(適格機関投資家限定)	3,553,928,802円
MUKAM バランス・イノベーション(株式抑制型)(適格機関投資家転売制限付)	15,608,830,883円
MUKAM バランス・イノベーション(リスク抑制型)(適格機関投資家転売制限付)	5,628,556,452円
MUKAM スマート・クオリティ・セレクション(適格機関投資家転売制限付)	2,320,825,215円
世界8資産バランスファンドVL(適格機関投資家限定)	129,741,424円
MUKAM 下方リスク抑制型バランスファンド(適格機関投資家限定)	19,715,914,819円
MUKAM バランス・イノベーション(債券重視型)(適格機関投資家転売制限付)	258,932,217円
MUKAM 日本債券インデックスファンド2(適格機関投資家限定)	5,869,456,265円
インデックス・ライフ・バランスファンド(安定型)VA	18,903,483円
インデックス・ライフ・バランスファンド(安定成長型)VA	35,980,167円
インデックス・ライフ・バランスファンド(成長型)VA	26,631,024円
インデックス・ライフ・バランスファンド(積極型)VA	18,992,805円
三菱UFJ バランスVA30D(適格機関投資家限定)	152,621,252円
三菱UFJ バランスVA60D(適格機関投資家限定)	304,607,216円

	[平成30年11月14日現在]
三菱UFJ バランスVA30G（適格機関投資家限定）	116,432,217円
三菱UFJ バランスVA60G（適格機関投資家限定）	240,539,332円
三菱UFJ <DC>日本債券インデックスファンド	3,597,285,458円
三菱UFJ <DC>インデックス・ライフ・バランス ファンド （安定型）	1,917,002,534円
三菱UFJ <DC>インデックス・ライフ・バランス ファンド （安定成長型）	3,638,017,108円
三菱UFJ <DC>インデックス・ライフ・バランス ファンド （成長型）	2,027,097,646円
三菱UFJ <DC>インデックス・ライフ・バランス ファンド （積極型）	1,220,312,733円
合計	443,990,761,458円
2. 受益権の総数	443,990,761,458口

当該親投資信託受益証券を投資対象とする証券投資信託ごとの元本額

（金融商品に関する注記）

金融商品の時価等に関する事項

区分	[平成30年11月14日現在]
1. 貸借対照表計上額、時価及びその差額	時価で計上しているためその差額はありません。
2. 時価の算定方法	<p>（1）有価証券 売買目的有価証券は、（重要な会計方針に係る事項に関する注記）に記載しております。</p> <p>（2）デリバティブ取引 デリバティブ取引は、（デリバティブ取引に関する注記）に記載しております。</p> <p>（3）上記以外の金融商品 上記以外の金融商品（コールローン等）は、短期間で決済され、時価は帳簿価額と近似していることから、当該金融商品の帳簿価額を時価としております。</p>
3. 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。

（有価証券に関する注記）

該当事項はありません。

（デリバティブ取引に関する注記）

取引の時価等に関する事項

債券関連

[平成30年11月14日現在]

区分	種類	契約額等(円)	うち1年超	時価(円)	評価損益(円)
市場取引	債券先物取引 買建	2,101,220,000		2,111,760,000	10,540,000
	合計	2,101,220,000		2,111,760,000	10,540,000

(注)時価の算定方法

- 先物取引の時価については、以下のように評価しております。
原則として、直近の日の主たる取引所の発表する清算値段または終値で評価しております。このような時価が発表されていない場合には、最も近い終値や気配値等、原則に準ずる方法で評価しております。
- 先物取引の残高は、契約額ベースで表示しております。
- 契約額等には手数料相当額を含んでおりません。
上記取引で、ヘッジ会計が適用されているものはありません。

(1口当たり情報)

	[平成30年11月14日現在]
1口当たり純資産額	1.3224円
(1万口当たり純資産額)	(13,224円)

TOPIXマザーファンド

貸借対照表

(単位:円)

[平成30年11月14日現在]

資産の部	
流動資産	
コール・ローン	36,829,121,493
株式	223,207,217,750
派生商品評価勘定	78,768,500
未収配当金	2,246,262,216
その他未収収益	89,836,609
差入委託証拠金	135,150,000
流動資産合計	262,586,356,568
資産合計	
262,586,356,568	
負債の部	
流動負債	
派生商品評価勘定	7,217,680
前受金	57,120,000
未払金	1,454,444,885
未払解約金	167,218,098
未払利息	82,204
受入担保金	33,307,409,415
その他未払費用	94,092
流動負債合計	34,993,586,374
負債合計	
34,993,586,374	
純資産の部	
元本等	
元本	129,434,399,696
剰余金	
剰余金又は欠損金()	98,158,370,498

[平成30年11月14日現在]

元本等合計	227,592,770,194
純資産合計	227,592,770,194
負債純資産合計	262,586,356,568

注記表

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

1. 有価証券の評価基準及び評価方法	株式は時価で評価しております。時価評価にあたっては、原則として金融商品取引所等における終値で評価しております。 新株予約権証券は時価で評価しております。時価評価にあたっては、原則として金融商品取引所等における終値で評価しております。
2. デリバティブ等の評価基準及び評価方法	先物取引は金融商品取引所等における清算値段で評価しております。

(貸借対照表に関する注記)

	[平成30年11月14日現在]
1. 期首	平成30年 5月15日
期首元本額	132,326,871,831円
期中追加設定元本額	71,380,635,467円
期中一部解約元本額	74,273,107,602円
元本の内訳	
ファンド・マネジャー（国内株式）	2,441,651,242円
eMAXIS TOPIXインデックス	11,213,599,829円
eMAXIS バランス（8資産均等型）	1,935,875,676円
eMAXIS バランス（波乗り型）	303,048,721円
コアバランス	871,160円
三菱UFJ ターゲット・イヤー・ファンド2030（確定拠出年金）	24,388,074円
三菱UFJ ターゲット・イヤー・ファンド2040（確定拠出年金）	45,423,058円
三菱UFJ ターゲット・イヤー・ファンド2050（確定拠出年金）	37,301,108円
eMAXIS Slim 国内株式（TOPIX）	3,071,137,546円
国内株式セレクション（ラップ向け）	1,384,063,531円
eMAXIS Slim バランス（8資産均等型）	1,246,034,483円
つみたて日本株式（TOPIX）	2,014,245,546円
つみたて8資産均等バランス	293,323,863円
つみたて4資産均等バランス	68,255,999円
eMAXIS マイマネージャー 1970s	1,529,883円
eMAXIS マイマネージャー 1980s	1,802,171円
eMAXIS マイマネージャー 1990s	2,212,889円

	[平成30年11月14日現在]
三菱UFJ ターゲット・イヤー・ファンド2035(確定拠出年金)	3,889,496円
三菱UFJ ターゲット・イヤー・ファンド2045(確定拠出年金)	4,031,392円
三菱UFJ ターゲット・イヤー・ファンド2055(確定拠出年金)	3,913,151円
eMAXIS Slim 全世界株式(3地域均等型)	117,034,673円
三菱UFJ アドバンスト・バランス(安定型)	36,975,422円
三菱UFJ アドバンスト・バランス(安定成長型)	220,437,107円
eMAXIS バランス(4資産均等型)	186,829,874円
eMAXIS 最適化バランス(マイゴールキーパー)	45,161,618円
eMAXIS 最適化バランス(マイディフェンダー)	61,472,656円
eMAXIS 最適化バランス(マイミッドフィルダー)	235,771,901円
eMAXIS 最適化バランス(マイフォワード)	171,915,701円
eMAXIS 最適化バランス(マイストライカー)	492,143,850円
三菱UFJ バランスファンド45VA(適格機関投資家限定)	56,387,277円
三菱UFJ バランスファンド40VA(適格機関投資家限定)	9,687,436,691円
三菱UFJ バランスファンドVA 20型(適格機関投資家限定)	262,551,409円
三菱UFJ バランスファンドVA 40型(適格機関投資家限定)	2,771,789,324円
MUAM 日本株式インデックスファンド(適格機関投資家限定)	15,498,999,323円
三菱UFJ バランスファンドVA 50型(適格機関投資家限定)	440,857,099円
三菱UFJ バランスファンドVA 75型(適格機関投資家限定)	12,140,596円
三菱UFJ バランスファンド55VA(適格機関投資家限定)	6,780,115円
三菱UFJ バランスファンドVA 45型(適格機関投資家限定)	72,414,096円
三菱UFJ バランスファンドVA 30型(適格機関投資家限定)	29,004,844円
三菱UFJ バランスファンド50VA(適格機関投資家限定)	421,744,549円
三菱UFJ バランスファンド20VA(適格機関投資家限定)	856,216,733円
MUAMトピックスリスクコントロール(5%)インデックスファンド(FOFs用)(適格機関投資家限定)	2,417,676円
MUAMトピックスリスクコントロール(10%)インデックスファンド(FOFs用)(適格機関投資家限定)	213,394,672円
MUAM インデックスファンドTOPIXi(適格機関投資家限定)	8,726,654円
MUKAM スマート・クオリティ・セレクション(適格機関投資家転売制限付)	403,703,464円
世界8資産バランスファンドVL(適格機関投資家限定)	37,015,329円
MUKAM 日本株式インデックスファンド2(適格機関投資家限定)	2,474,817,153円
三菱UFJ TOPIX・ファンド	9,088,929,284円

	[平成30年11月14日現在]
インデックス・ライフ・バランスファンド（安定型）VA	4,861,479円
インデックス・ライフ・バランスファンド（安定成長型）VA	18,886,606円
インデックス・ライフ・バランスファンド（成長型）VA	21,412,330円
インデックス・ライフ・バランスファンド（積極型）VA	21,394,458円
三菱UFJ TOPIX・ファンドVA1	1,810,591,845円
三菱UFJ TOPIX・ファンドVA	342,028,183円
三菱UFJ バランスVA30D（適格機関投資家限定）	45,789,657円
三菱UFJ バランスVA60D（適格機関投資家限定）	308,292,742円
三菱UFJ バランスVA30G（適格機関投資家限定）	32,362,094円
三菱UFJ バランスVA60G（適格機関投資家限定）	215,701,547円
三菱UFJ <DC>TOPIX・ファンド	1,898,412,061円
三菱UFJ <DC>インデックス・ライフ・バランス ファンド（安定型）	499,838,089円
三菱UFJ <DC>インデックス・ライフ・バランス ファンド（安定成長型）	1,987,850,723円
三菱UFJ <DC>インデックス・ライフ・バランス ファンド（成長型）	1,690,261,249円
三菱UFJ <DC>インデックス・ライフ・バランス ファンド（積極型）	1,379,610,343円
三菱UFJ DC国内株式インデックスファンド	51,147,438,382円
合計	129,434,399,696円
2. 貸付有価証券 貸借取引契約により以下の通り有価証券の貸付を行っております。 株式	31,118,948,380円
3. 受益権の総数	129,434,399,696口

当該親投資信託受益証券を投資対象とする証券投資信託ごとの元本額

（金融商品に関する注記）

金融商品の時価等に関する事項

区分	[平成30年11月14日現在]
1. 貸借対照表計上額、時価及びその差額	時価で計上しているためその差額はありませぬ。
2. 時価の算定方法	<p>(1) 有価証券 売買目的有価証券は、（重要な会計方針に係る事項に関する注記）に記載しております。</p> <p>(2) デリバティブ取引 デリバティブ取引は、（デリバティブ取引に関する注記）に記載しております。</p> <p>(3) 上記以外の金融商品 上記以外の金融商品（コールローン等）は、短期間で決済され、時価は帳簿価額と近似していることから、当該金融商品の帳簿価額を時価としております。</p>

区分	[平成30年11月14日現在]
3.金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。

（有価証券に関する注記）

該当事項はありません。

（デリバティブ取引に関する注記）

取引の時価等に関する事項

株式関連

[平成30年11月14日現在]

区分	種類	契約額等（円）		時価（円）	評価損益（円）
			うち1年超		
市場取引	株価指数先物取引 買建	4,304,435,000		4,376,130,000	71,695,000
	合計	4,304,435,000		4,376,130,000	71,695,000

（注）時価の算定方法

- 先物取引の時価については、以下のように評価しております。
原則として、直近の日の主たる取引所の発表する清算値段または終値で評価しております。このような時価が発表されていない場合には、最も近い終値や気配値等、原則に準ずる方法で評価しております。
- 先物取引の残高は、契約額ベースで表示しております。
- 契約額等には手数料相当額を含んでおりません。
上記取引で、ヘッジ会計が適用されているものはありません。

（1口当たり情報）

	[平成30年11月14日現在]
1口当たり純資産額	1.7584円
(1万口当たり純資産額)	(17,584円)

外国債券インデックスマザーファンド

貸借対照表

（単位：円）

[平成30年11月14日現在]

資産の部	
流動資産	
預金	635,031,820
コール・ローン	39,510,169
国債証券	121,641,627,913

[平成30年11月14日現在]

派生商品評価勘定	1,510
未収利息	979,888,045
前払費用	55,825,883
流動資産合計	123,351,885,340
資産合計	123,351,885,340
負債の部	
流動負債	
派生商品評価勘定	42,409
未払金	727,016,770
未払解約金	9,912,628
未払利息	88
その他未払費用	372
流動負債合計	736,972,267
負債合計	736,972,267
純資産の部	
元本等	
元本	60,446,582,555
剰余金	
剰余金又は欠損金（ ）	62,168,330,518
元本等合計	122,614,913,073
純資産合計	122,614,913,073
負債純資産合計	123,351,885,340

注記表

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

1.有価証券の評価基準及び評価方法	公社債は時価で評価しております。時価評価にあたっては、価格情報会社等の提供する理論価格で評価しております。
2.デリバティブ等の評価基準及び評価方法	為替予約取引は原則としてわが国における対顧客先物相場の仲値で評価しております。
3.その他財務諸表作成のための基本となる重要な事項	外貨建資産等の会計処理 「投資信託財産の計算に関する規則」第60条および第61条にしたがって処理しております。

(貸借対照表に関する注記)

	[平成30年11月14日現在]
1. 期首	平成30年 5月15日
期首元本額	59,625,812,717円
期中追加設定元本額	5,209,101,124円
期中一部解約元本額	4,388,331,286円
元本の内訳	
ファンド・マネジャー（海外債券）	902,489,063円
eMAXIS 先進国債券インデックス	6,820,555,909円
eMAXIS バランス（8資産均等型）	1,701,772,541円
eMAXIS バランス（波乗り型）	239,193,540円
コアバランス	1,575,533円

	[平成30年11月14日現在]
三菱UFJ ターゲット・イヤー・ファンド2030(確定拠出年金)	5,907,525円
三菱UFJ ターゲット・イヤー・ファンド2040(確定拠出年金)	5,817,455円
三菱UFJ ターゲット・イヤー・ファンド2050(確定拠出年金)	3,768,054円
eMAXIS Slim 先進国債券インデックス	1,305,214,589円
海外債券セレクション(ラップ向け)	1,444,707,735円
eMAXIS Slim バランス(8資産均等型)	1,095,753,408円
つみたて8資産均等バランス	257,436,656円
つみたて4資産均等バランス	59,762,816円
eMAXIS マイマネージャー 1970s	583,428円
eMAXIS マイマネージャー 1980s	160,868円
eMAXIS マイマネージャー 1990s	32,561円
三菱UFJ ターゲット・イヤー・ファンド2035(確定拠出年金)	638,560円
三菱UFJ ターゲット・イヤー・ファンド2045(確定拠出年金)	455,145円
三菱UFJ ターゲット・イヤー・ファンド2055(確定拠出年金)	381,460円
三菱UFJ DC年金インデックス(先進国債券)	486,769円
三菱UFJ DC海外債券インデックスファンド	8,481,985,082円
eMAXIS バランス(4資産均等型)	165,145,258円
eMAXIS 最適化バランス(マイゴールキーパー)	111,190,407円
eMAXIS 最適化バランス(マイディフェンダー)	65,255,311円
eMAXIS 最適化バランス(マイミッドフィルダー)	91,530,015円
eMAXIS 最適化バランス(マイフォワード)	13,045,958円
eMAXIS 最適化バランス(マイストライカー)	7,168,684円
三菱UFJ バランスファンド45VA(適格機関投資家限定)	61,535,408円
三菱UFJ バランスファンド40VA(適格機関投資家限定)	2,822,066,741円
三菱UFJ バランスファンドVA 40型(適格機関投資家限定)	1,815,425,068円
MUAM 外国債券インデックスファンド(適格機関投資家限定)	22,219,550,233円
三菱UFJ バランスファンドVA 50型(適格機関投資家限定)	785,880,390円
三菱UFJ バランスファンドVA 75型(適格機関投資家限定)	16,146,474円
三菱UFJ バランスファンド55VA(適格機関投資家限定)	8,879,605円
三菱UFJ バランスファンドVA 45型(適格機関投資家限定)	62,982,521円
三菱UFJ バランスファンドVA 30型(適格機関投資家限定)	16,827,899円
三菱UFJ バランスファンド20VA(適格機関投資家限定)	2,335,907,027円
アドバンスト・バランス (FOFs用)(適格機関投資家限定)	104,249,079円
アドバンスト・バランス (FOFs用)(適格機関投資家限定)	148,285,325円

	[平成30年11月14日現在]
MUKAM スマート・クオリティ・セレクション(適格機関投資家転売制限付)	171,201,678円
世界8資産バランスファンドVL(適格機関投資家限定)	10,100,306円
MUKAM 外国債券インデックスファンド2(適格機関投資家限定)	1,617,398,960円
インデックス・ライフ・バランスファンド(安定型)VA	2,154,989円
インデックス・ライフ・バランスファンド(安定成長型)VA	5,491,144円
インデックス・ライフ・バランスファンド(成長型)VA	5,302,354円
インデックス・ライフ・バランスファンド(積極型)VA	2,305,759円
三菱UFJ 外国債券インデックスファンドVA	56,291,871円
三菱UFJ バランスVA30D(適格機関投資家限定)	40,512,851円
三菱UFJ バランスVA60D(適格機関投資家限定)	66,996,460円
三菱UFJ バランスVA30G(適格機関投資家限定)	57,809,962円
三菱UFJ バランスVA60G(適格機関投資家限定)	96,037,512円
外国債券インデックスファンドi(適格機関投資家限定)	1,794,378,649円
三菱UFJ <DC>外国債券インデックスファンド	1,971,045,838円
三菱UFJ <DC>インデックス・ライフ・バランス ファンド(安定型)	219,726,190円
三菱UFJ <DC>インデックス・ライフ・バランス ファンド(安定成長型)	574,729,463円
三菱UFJ <DC>インデックス・ライフ・バランス ファンド(成長型)	423,302,085円
三菱UFJ <DC>インデックス・ライフ・バランス ファンド(積極型)	152,046,384円
合計	60,446,582,555円
2. 受益権の総数	60,446,582,555口

当該親投資信託受益証券を投資対象とする証券投資信託ごとの元本額

(金融商品に関する注記)

金融商品の時価等に関する事項

区分	[平成30年11月14日現在]
1. 貸借対照表計上額、時価及びその差額	時価で計上しているためその差額はありませぬ。
2. 時価の算定方法	<p>(1) 有価証券 売買目的有価証券は、(重要な会計方針に係る事項に関する注記)に記載しております。</p> <p>(2) デリバティブ取引 デリバティブ取引は、(デリバティブ取引に関する注記)に記載しております。</p> <p>(3) 上記以外の金融商品 上記以外の金融商品(コールローン等)は、短期間で決済され、時価は帳簿価額と近似していることから、当該金融商品の帳簿価額を時価としております。</p>

区分	[平成30年11月14日現在]
3.金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。

（有価証券に関する注記）

該当事項はありません。

（デリバティブ取引に関する注記）

取引の時価等に関する事項

通貨関連

[平成30年11月14日現在]

区分	種類	契約額等（円）		時価（円）	評価損益（円）
			うち1年超		
市場取引以外の取引	為替予約取引				
	買建				
	アメリカドル	365,699,250		365,683,200	16,050
	カナダドル	16,363,370		16,362,800	570
	オーストラリアドル	16,464,600		16,464,000	600
	イギリスポンド	53,353,440		53,352,000	1,440
	シンガポールドル	2,479,590		2,479,500	90
	スウェーデンクローネ	4,410,175		4,410,000	175
	ノルウェークローネ	2,685,920		2,684,000	1,920
	デンマーククローネ	6,041,245		6,041,000	245
	メキシコペソ	6,123,480		6,116,000	7,480
	ポーランドズロチ	5,699,943		5,698,100	1,843
	南アフリカランド	4,738,560		4,734,000	4,560
	ユーロ	313,015,590		313,008,300	7,290
	売建				
アメリカドル	1,139,154		1,139,300	146	
ユーロ	1,289,610		1,288,100	1,510	
合計		799,503,927		799,460,300	40,899

（注）時価の算定方法

- 1 対顧客先物相場の仲値が発表されている外貨については、以下のように評価しております。

為替予約の受渡日（以下「当該日」といいます。）の対顧客先物相場の仲値が発表されている場合は、当該為替予約は、当該対顧客先物相場の仲値で評価しております。

当該日の対顧客先物相場の仲値が発表されていない場合は、以下の方法によっております。

- （イ）当該日を超える対顧客先物相場が発表されている場合には、発表されている先物相場のうち当該日に最も近い前後二つの対顧客先物相場の仲値をもとに計算したレートを用いております。

(ロ) 当該日を超える対顧客先物相場が発表されていない場合には、当該日に最も近い発表されている対顧客先物相場の仲値を用いております。

- 2 対顧客先物相場の仲値が発表されていない外貨については、対顧客電信売買相場の仲値で評価しております。
上記取引で、ヘッジ会計が適用されているものはありません。

(1口当たり情報)

	[平成30年11月14日現在]
1口当たり純資産額	2.0285円
(1万口当たり純資産額)	(20,285円)

外国株式インデックスマザーファンド

貸借対照表

(単位：円)

[平成30年11月14日現在]

資産の部	
流動資産	
預金	6,991,144,569
コール・ローン	454,654,092
株式	304,836,483,118
投資証券	7,702,120,573
派生商品評価勘定	78,430,017
未収入金	48,734,754
未収配当金	440,426,787
差入委託証拠金	2,988,925,221
流動資産合計	323,540,919,131
資産合計	323,540,919,131
負債の部	
流動負債	
派生商品評価勘定	90,234,785
未払金	34,866,122
未払解約金	76,065,945
未払利息	1,014
その他未払費用	2,365
流動負債合計	201,170,231
負債合計	201,170,231
純資産の部	
元本等	
元本	119,761,225,916
剰余金	
剰余金又は欠損金()	203,578,522,984
元本等合計	323,339,748,900
純資産合計	323,339,748,900
負債純資産合計	323,540,919,131

注記表

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

1.有価証券の評価基準及び評価方法	株式は時価で評価しております。時価評価にあたっては、原則として金融商品取引所等における終値で評価しております。 投資証券は時価で評価しております。時価評価にあたっては、原則として金融商品取引所等における終値で評価しております。
2.デリバティブ等の評価基準及び評価方法	先物取引は金融商品取引所等における清算値段で評価しております。 為替予約取引は原則としてわが国における対顧客先物相場の仲値で評価しております。
3.その他財務諸表作成のための基本となる重要な事項	外貨建資産等の会計処理 「投資信託財産の計算に関する規則」第60条および第61条にしたがって処理しております。

(貸借対照表に関する注記)

	[平成30年11月14日現在]
1. 期首	平成30年 5月15日
期首元本額	125,901,148,704円
期中追加設定元本額	63,412,477,475円
期中一部解約元本額	69,552,400,263円
元本の内訳	
ファンド・マネジャー(海外株式)	142,037,485円
eMAXIS 先進国株式インデックス	13,386,682,376円
eMAXIS バランス(8資産均等型)	1,270,431,024円
eMAXIS バランス(波乗り型)	61,459,728円
コアバランス	332,843円
三菱UFJ ターゲット・イヤー・ファンド2030(確定拠出年金)	7,970,772円
三菱UFJ ターゲット・イヤー・ファンド2040(確定拠出年金)	14,831,052円
三菱UFJ ターゲット・イヤー・ファンド2050(確定拠出年金)	11,881,687円
eMAXIS Slim 先進国株式インデックス	9,558,728,622円
海外株式セレクション(ラップ向け)	1,350,259,789円
eMAXIS Slim バランス(8資産均等型)	815,918,753円
つみたて先進国株式	683,263,706円
つみたて8資産均等バランス	192,797,320円
つみたて4資産均等バランス	44,702,676円
eMAXIS マイマネージャー 1970s	1,008,362円
eMAXIS マイマネージャー 1980s	1,275,237円
eMAXIS マイマネージャー 1990s	1,491,339円
三菱UFJ ターゲット・イヤー・ファンド2035(確定拠出年金)	1,312,603円
三菱UFJ ターゲット・イヤー・ファンド2045(確定拠出年金)	1,279,586円
三菱UFJ ターゲット・イヤー・ファンド2055(確定拠出年金)	1,302,413円

	[平成30年11月14日現在]
eMAXIS Slim 全世界株式(除く日本)	945,712,459円
eMAXIS Slim 全世界株式(3地域均等型)	75,903,272円
eMAXIS Slim 全世界株式(オール・カントリー)	49,951,206円
三菱UFJ DC海外株式インデックスファンド	11,979,595,570円
eMAXIS 全世界株式インデックス	2,585,748,623円
eMAXIS バランス(4資産均等型)	121,700,460円
eMAXIS 最適化バランス(マイゴールキーパー)	23,784,757円
eMAXIS 最適化バランス(マイディフェンダー)	40,682,229円
eMAXIS 最適化バランス(マイミッドフィルダー)	155,037,871円
eMAXIS 最適化バランス(マイフォワード)	117,644,847円
eMAXIS 最適化バランス(マイストライカー)	332,033,904円
三菱UFJ バランスファンド45VA(適格機関投資家限定)	47,162,763円
三菱UFJ バランスファンド40VA(適格機関投資家限定)	10,493,834,678円
三菱UFJ バランスファンドVA 20型(適格機関投資家限定)	171,492,574円
三菱UFJ バランスファンドVA 40型(適格機関投資家限定)	1,805,761,450円
MUAM 外国株式インデックスファンド(適格機関投資家限定)	38,751,231,358円
三菱UFJ バランスファンドVA 45型(適格機関投資家限定)	59,150,927円
三菱UFJ バランスファンドVA 30型(適格機関投資家限定)	19,035,932円
三菱UFJ バランスファンド50VA(適格機関投資家限定)	1,379,318,933円
MSCIコクサイインデックスファンド(FOFs用)(適格機関投資家限定)	3,109,463,159円
MUAM 全世界株式インデックスファンド(適格機関投資家限定)	8,594,360,357円
アドバンスト・バランス (FOFs用)(適格機関投資家限定)	34,837,855円
アドバンスト・バランス (FOFs用)(適格機関投資家限定)	214,043,701円
MUKAM スマート・クオリティ・セレクション(適格機関投資家転売制限付)	375,194,209円
世界8資産バランスファンドVL(適格機関投資家限定)	30,936,559円
MUKAM 外国株式インデックスファンド2(適格機関投資家限定)	1,273,283,677円
三菱UFJ 外国株式インデックスファンド	2,372,030,791円
インデックス・ライフ・バランスファンド(安定型)VA	1,581,666円
インデックス・ライフ・バランスファンド(安定成長型)VA	6,150,034円
インデックス・ライフ・バランスファンド(成長型)VA	7,973,395円
インデックス・ライフ・バランスファンド(積極型)VA	8,875,810円
三菱UFJ 外国株式インデックスファンドVA	66,696,321円
三菱UFJ バランスVA30D(適格機関投資家限定)	14,892,312円
三菱UFJ バランスVA60D(適格機関投資家限定)	100,246,208円
三菱UFJ バランスVA30G(適格機関投資家限定)	21,338,121円
三菱UFJ バランスVA60G(適格機関投資家限定)	141,585,485円

	[平成30年11月14日現在]
三菱UFJ <DC>外国株式インデックスファンド	4,671,915,341円
三菱UFJ <DC>インデックス・ライフ・バランス ファンド (安定型)	163,628,374円
三菱UFJ <DC>インデックス・ライフ・バランス ファンド (安定成長型)	649,722,375円
三菱UFJ <DC>インデックス・ライフ・バランス ファンド (成長型)	631,048,987円
三菱UFJ <DC>インデックス・ライフ・バランス ファンド (積極型)	567,669,993円
合計	119,761,225,916円
2. 受益権の総数	119,761,225,916口

当該親投資信託受益証券を投資対象とする証券投資信託ごとの元本額

(金融商品に関する注記)

金融商品の時価等に関する事項

区分	[平成30年11月14日現在]
1. 貸借対照表計上額、時価及びその差額	時価で計上しているためその差額はありません。
2. 時価の算定方法	(1) 有価証券 売買目的有価証券は、(重要な会計方針に係る事項に関する注記)に記載しております。 (2) デリバティブ取引 デリバティブ取引は、(デリバティブ取引に関する注記)に記載しております。 (3) 上記以外の金融商品 上記以外の金融商品(コールローン等)は、短期間で決済され、時価は帳簿価額と近似していることから、当該金融商品の帳簿価額を時価としております。
3. 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。

(有価証券に関する注記)

該当事項はありません。

(デリバティブ取引に関する注記)

取引の時価等に関する事項

株式関連

[平成30年11月14日現在]

区分	種類	契約額等(円)		時価(円)	評価損益(円)
			うち1年超		

市場取引	株価指数先物取引 買建	10,995,773,385	10,982,468,407	13,304,978
	合計	10,995,773,385	10,982,468,407	13,304,978

(注) 時価の算定方法

- 先物取引の時価については、以下のように評価しております。
原則として、直近の日の主たる取引所の発表する清算値段または終値で評価しております。このような時価が発表されていない場合には、最も近い終値や気配値等、原則に準ずる方法で評価しております。
- 先物取引の残高は、契約額ベースで表示しております。
- 契約額等には手数料相当額を含んでおりません。
上記取引で、ヘッジ会計が適用されているものはありません。

通貨関連

[平成30年11月14日現在]

区分	種類	契約額等（円）		時価（円）	評価損益（円）
			うち1年超		
市場取引以外の取引	為替予約取引 買建				
	アメリカドル	409,652,300		410,129,000	476,700
	カナダドル	64,457,250		64,590,000	132,750
	イギリスポンド	44,256,300		44,460,000	203,700
	スイスフラン	22,571,800		22,646,000	74,200
	シンガポールドル	8,210,240		8,265,000	54,760
	スウェーデンクローネ	12,420,500		12,600,000	179,500
	ユーロ	89,788,400		90,167,000	378,600
	合計	651,356,790		652,857,000	1,500,210

(注) 時価の算定方法

- 対顧客先物相場の仲値が発表されている外貨については、以下のように評価しております。
為替予約の受渡日（以下「当該日」といいます。）の対顧客先物相場の仲値が発表されている場合は、当該為替予約は、当該対顧客先物相場の仲値で評価しております。
当該日の対顧客先物相場の仲値が発表されていない場合は、以下の方法によっております。
(イ) 当該日を超える対顧客先物相場が発表されている場合には、発表されている先物相場のうち当該日に最も近い前後二つの対顧客先物相場の仲値をもとに計算したレートを用いております。
(ロ) 当該日を超える対顧客先物相場が発表されていない場合には、当該日に最も近い発表されている対顧客先物相場の仲値を用いております。
- 対顧客先物相場の仲値が発表されていない外貨については、対顧客電信売買相場の仲値で評価しております。
上記取引で、ヘッジ会計が適用されているものはありません。

(1口当たり情報)

	[平成30年11月14日現在]
1口当たり純資産額	2.6999円
(1万口当たり純資産額)	(26,999円)

2【ファンドの現況】

【三菱UFJ <DC>インデックス・ライフ・バランス ファンド（積極型）】

【純資産額計算書】

平成30年11月30日現在

（単位：円）

資産総額	6,154,017,748
負債総額	6,022,017
純資産総額（ - ）	6,147,995,731
発行済口数	2,996,537,585口
1口当たり純資産価額（ / ）	2.0517
（10,000口当たり）	（20,517）

（参考）

日本債券インデックスマザーファンド

純資産額計算書

平成30年11月30日現在

（単位：円）

資産総額	595,869,761,271
負債総額	9,122,473,081
純資産総額（ - ）	586,747,288,190
発行済口数	442,380,433,918口
1口当たり純資産価額（ / ）	1.3263
（10,000口当たり）	（13,263）

TOPIXマザーファンド

純資産額計算書

平成30年11月30日現在

（単位：円）

資産総額	262,344,361,072
負債総額	31,133,977,580
純資産総額（ - ）	231,210,383,492
発行済口数	129,398,934,332口

1口当たり純資産価額(/)	1.7868
(10,000口当たり)	(17,868)

外国債券インデックスマザーファンド

純資産額計算書

平成30年11月30日現在

(単位:円)

資産総額	124,338,891,577
負債総額	332,457,132
純資産総額(-)	124,006,434,445
発行済口数	60,854,718,919口
1口当たり純資産価額(/)	2.0377
(10,000口当たり)	(20,377)

外国株式インデックスマザーファンド

純資産額計算書

平成30年11月30日現在

(単位:円)

資産総額	327,459,671,517
負債総額	104,680,360
純資産総額(-)	327,354,991,157
発行済口数	121,314,852,487口
1口当たり純資産価額(/)	2.6984
(10,000口当たり)	(26,984)

第三部【委託会社等の情報】

第1【委託会社等の概況】

1【委託会社等の概況】

<更新後>

(1) 資本金の額等

2018年11月末現在、資本金は2,000百万円です。なお、発行可能株式総数は400,000株であり、211,581株を発行済です。最近5年間における資本金の額の増減はありません。

(2) 委託会社の機構

・会社の意思決定機構

業務執行の基本方針を決定し、取締役の職務の執行を監督する機関として、取締役会を設置します。取締役の選任は、総株主の議決権の3分の1以上を有する株主が出席する株主総会にてその議決権の過半数をもって行い、累積投票によらないものとします。また、取締役会で決定した基本方針に基づき、経営管理全般に関する執行方針その他重要な事項を協議・決定する機関として、経営会議を設置します。

・投資運用の意思決定機構

投資環境見通しの策定

投資環境会議において、国内外の経済・金融情報および各国証券市場等の調査・分析に基づいた投資環境見通しを策定します。

運用戦略の決定

運用戦略委員会において、で策定された投資環境見通しに沿って運用戦略を決定します。

運用計画の決定

で決定された運用戦略に基づいて、各運用部はファンド毎の運用計画を決定します。

ポートフォリオの構築

各運用部の担当ファンドマネジャーは、運用部から独立したトレーディング部に売買実行の指示をします。トレーディング部は、事前のチェックを行ったうえで、最良執行をめざして売買の執行を行います。

投資行動のモニタリング1

運用部門は、投資行動がファンドコンセプトおよびファンド毎に定めた運用計画に沿っているかどうかの自律的なチェックを行い、逸脱がある場合は速やかな是正を指示します。

投資行動のモニタリング2

運用部から独立した管理担当部署は、運用に関するパフォーマンス測定、リスク管理および法令・信託約款などの遵守状況等のモニタリングを実施します。この結果は、運用管理委員会等を通じて運用部門にフィードバックされ、必要に応じて是正を指示します。

ファンドに係る法人等の管理

受託会社等、ファンドの運営に係る法人については、その業務に関する委託会社の管理担当部署が、体制、業務執行能力、信用力等のモニタリング・評価を実施します。この結果は、リスク管理委員会等を通じて委託会社の経営陣に報告され、必要に応じて是正が指示されます。

運用・管理に関する監督

内部監査担当部署は、運用、管理等に関する委託会社の業務全般についてその健全性・適切性を担保するために、リスク管理、内部統制、ガバナンス・プロセスの適切性・有効性を検証・評価します。その評価結果は問題点の改善方法の提言等も含めて委託会社の経営陣に報告される、内部監査態勢が構築されています。

ファンドの運用体制等は、今後変更される可能性があります。

2【事業の内容及び営業の概況】

< 更新後 >

「投資信託及び投資法人に関する法律」に定める投資信託委託会社である委託会社は、証券投資信託の設定を行うとともに「金融商品取引法」に定める金融商品取引業者としてその運用（投資運用業）等を行っています。また「金融商品取引法」に定める第二種金融商品取引業および投資助言業務を行っています。

2018年11月30日現在における委託会社の運用する証券投資信託は以下の通りです。（親投資信託を除きます。）

商品分類	本数 (本)	純資産総額 (百万円)
追加型株式投資信託	892	12,459,183
追加型公社債投資信託	16	1,216,017
単位型株式投資信託	58	269,104
単位型公社債投資信託	1	6,063
合計	967	13,950,367

なお、純資産総額の金額については、百万円未満の端数を四捨五入して記載しておりますので、表中の個々の数字の合計と合計欄の数字とは一致しないことがあります。

3【委託会社等の経理状況】

< 更新後 >

(1) 財務諸表及び中間財務諸表の作成方法について

委託会社である三菱UFJ国際投信株式会社（以下「当社」という。）の財務諸表は、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則（昭和38年大蔵省令第59号）」（以下「財務諸表等規則」という。）第2条の規定により、財務諸表等規則及び「金融商品取引業等に関する内閣府令（平成19年内閣府令第52号）」に基づき作成しております。

また、当社の中間財務諸表は、「中間財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則（昭和52年大蔵省令第38号）」（以下「中間財務諸表等規則」という。）第38条及び第57条の規定により、中間財務諸表等規則及び「金融商品取引業等に関する内閣府令」に基づき作成しております。

なお、財務諸表及び中間財務諸表に掲載している金額については、千円未満の端数を切り捨てて表示しております。

(2) 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第33期事業年度（自平成29年4月1日至平成30年3月31日）の財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる監査を受けております。

また、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第34期事業年度に係る中間会計期間（自平成30年4月1日至平成30年9月30日）の中間財務諸表について、有限責任監査法人トーマツにより中間監査を受けております。

(1) 【貸借対照表】

(単位：千円)

	第32期 (平成29年3月31日現在)		第33期 (平成30年3月31日現在)	
(資産の部)				
流動資産				
現金及び預金	2	69,212,680	2	54,140,307
有価証券		36,210		19,967
前払費用		337,699		362,886
未収入金		35,896		2,109
未収委託者報酬		10,076,022		9,770,529
未収収益	2	659,405	2	674,156
繰延税金資産		446,374		490,903
金銭の信託	2	30,000	2	30,000
その他		113,754		224,645
流動資産合計		80,948,042		65,715,506
固定資産				
有形固定資産				
建物	1	806,798	1	760,010
器具備品	1	759,446	1	724,852
土地		1,356,000		1,356,000
有形固定資産合計		2,922,245		2,840,863
無形固定資産				
電話加入権		15,822		15,822
ソフトウェア		1,844,549		2,654,296
ソフトウェア仮勘定		608,066		1,097,970
その他		10		
無形固定資産合計		2,468,448		3,768,090
投資その他の資産				
投資有価証券		24,327,081		26,361,327
関係会社株式		320,136		320,136
長期差入保証金		654,402		627,141
前払年金費用		463,105		434,700
繰延税金資産		711,230		747,085
その他		50,235		45,230
貸倒引当金		23,600		23,600
投資その他の資産合計		26,502,592		28,512,021
固定資産合計		31,893,286		35,120,975
資産合計		112,841,328		100,836,481

(単位：千円)

	第32期 (平成29年3月31日現在)		第33期 (平成30年3月31日現在)	
--	------------------------	--	------------------------	--

(負債の部)**流動負債**

預り金		166,493		359,176
未払金				
未払収益分配金		108,024		174,333
未払償還金		547,707		456,159
未払手数料	2	4,225,009	2	3,905,670
その他未払金	2	2,355,815	2	4,330,584
未払費用	2	3,061,479	2	4,388,803
未払消費税等		351,670		99,010
未払法人税等		756,668		736,829
賞与引当金		843,729		906,167
役員賞与引当金		100,680		125,343
その他		711,633		842,194
流動負債合計		13,228,909		16,324,272
固定負債				
退職給付引当金		590,154		720,536
役員退職慰労引当金		166,458		187,562
時効後支払損引当金		253,070		254,851
固定負債合計		1,009,684		1,162,951
負債合計		14,238,594		17,487,223
(純資産の部)				
株主資本				
資本金		2,000,131		2,000,131
資本剰余金				
資本準備金		3,572,096		3,572,096
その他資本剰余金		41,160,616		41,160,616
資本剰余金合計		44,732,712		44,732,712
利益剰余金				
利益準備金		342,589		342,589
その他利益剰余金				
別途積立金		6,998,000		6,998,000
繰越利益剰余金		43,034,713		27,790,911
利益剰余金合計		50,375,303		35,131,500
株主資本合計		97,108,147		81,864,344

(単位：千円)

	第32期 (平成29年3月31日現在)	第33期 (平成30年3月31日現在)
評価・換算差額等		
その他有価証券 評価差額金	1,494,586	1,484,913
評価・換算差額等合計	1,494,586	1,484,913
純資産合計	98,602,734	83,349,257
負債純資産合計	112,841,328	100,836,481

(2) 【損益計算書】

(単位：千円)

	第32期 (自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日)		第33期 (自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日)	
営業収益				
委託者報酬		81,709,776		75,423,596
投資顧問料		2,396,020		2,723,458
その他営業収益		25,763		48,215
営業収益合計		84,131,560		78,195,269
営業費用				
支払手数料	2	33,975,255	2	30,906,879
広告宣伝費		731,771		730,784
公告費		482		1,000
調査費				
調査費		1,713,892		1,723,057
委託調査費		13,961,993		13,467,029
事務委託費		984,749		864,916
営業雑経費				
通信費		158,915		178,652
印刷費		699,940		467,973
協会費		51,995		50,251
諸会費		9,887		15,328
事務機器関連費		1,611,608		1,635,079
その他営業雑経費		11,925		23,250
営業費用合計		53,912,419		50,064,204
一般管理費				
給料				
役員報酬		331,997		349,359
給料・手当		6,496,165		6,421,837
賞与引当金繰入		843,729		906,167
役員賞与引当金繰入		100,680		125,343
福利厚生費		1,196,210		1,231,033
交際費		14,843		13,012
旅費交通費		233,159		192,192
租税公課		422,030		410,229
不動産賃借料		706,571		678,182
退職給付費用		441,736		423,171
役員退職慰労引当金繰入		48,393		47,889
固定資産減価償却費		1,030,040		1,115,719
諸経費		474,521		450,299
一般管理費合計		12,340,079		12,364,437
営業利益		17,879,061		15,766,627

(単位：千円)

	第32期 (自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日)		第33期 (自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日)	
営業外収益				
受取配当金		243,048		349,402
有価証券利息		0		
受取利息	2	4,601	2	483
投資有価証券償還益		260,190		81,580
収益分配金等時効完成分		278,148		91,672
その他		4,383		9,989
営業外収益合計		790,372		533,128
営業外費用				
投資有価証券償還損		11,552		30,114
時効後支払損引当金繰入				43,182
事務過誤費		218		10,402
その他		4,357		3,829
営業外費用合計		16,128		87,529
経常利益		18,653,304		16,212,226
特別利益				
投資有価証券売却益		259,137		516,394
ゴルフ会員権売却益				7,495
特別利益合計		259,137		523,889
特別損失				
投資有価証券売却損		42,248		105,903
デリバティブ解約損		126,228		
投資有価証券評価損		157,482		102,096
固定資産除却損	1	13,540	1	54
減損損失	3	48,575		
特別損失合計		388,075		208,054
税引前当期純利益		18,524,367		16,528,061
法人税、住民税及び事業税	2	5,658,953	2	5,252,224
法人税等調整額		103,169		76,092
法人税等合計		5,762,122		5,176,132
当期純利益		12,762,244		11,351,928

(3) 【株主資本等変動計算書】

第32期（自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日）

(単位：千円)

	株主資本				株主資本合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金	
				その他利益剰余金	

		資本 準備金	その他 資本剰余金	資本 剰余金合計	利益 準備金	別途 積立金	繰越利益 剰余金	利益剰余金 合計	
当期首残高	2,000,131	3,572,096	41,160,616	44,732,712	342,589	6,998,000	57,079,782	64,420,372	111,153,216
当期変動額									
剰余金の配当							26,807,312	26,807,312	26,807,312
当期純利益							12,762,244	12,762,244	12,762,244
株主資本以外の 項目の当期変動額 (純額)									
当期変動額合計							14,045,068	14,045,068	14,045,068
当期末残高	2,000,131	3,572,096	41,160,616	44,732,712	342,589	6,998,000	43,034,713	50,375,303	97,108,147

	評価・換算差額等			純資産合計
	その他 有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	評価・換算 差額等合計	
当期首残高	1,446,576	6,546	1,453,123	112,606,339
当期変動額				
剰余金の配当				26,807,312
当期純利益				12,762,244
株主資本以外の 項目の当期変動額 (純額)	48,009	6,546	41,462	41,462
当期変動額合計	48,009	6,546	41,462	14,003,605
当期末残高	1,494,586		1,494,586	98,602,734

第33期(自平成29年4月1日至平成30年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本								株主資本合計
	資本金	資本剰余金			利益 準備金	その他利益剰余金		利益剰余金 合計	
		資本 準備金	その他 資本剰余金	資本 剰余金合計		別途 積立金	繰越利益 剰余金		
当期首残高	2,000,131	3,572,096	41,160,616	44,732,712	342,589	6,998,000	43,034,713	50,375,303	97,108,147
当期変動額									
剰余金の配当							26,595,731	26,595,731	26,595,731
当期純利益							11,351,928	11,351,928	11,351,928
株主資本以外の 項目の当期変動額 (純額)									
当期変動額合計							15,243,802	15,243,802	15,243,802
当期末残高	2,000,131	3,572,096	41,160,616	44,732,712	342,589	6,998,000	27,790,911	35,131,500	81,864,344

	評価・換算差額等		純資産合計
	その他 有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計	
当期首残高	1,494,586	1,494,586	98,602,734
当期変動額			
剰余金の配当			26,595,731
当期純利益			11,351,928

株主資本以外の 項目の当期変動額 (純額)	9,673	9,673	9,673
当期変動額合計	9,673	9,673	15,253,476
当期末残高	1,484,913	1,484,913	83,349,257

[注記事項]

(重要な会計方針)

1. 有価証券の評価基準及び評価方法

(1) 子会社株式及び関連会社株式

移動平均法による原価法を採用しております。

(2) その他有価証券

時価のあるもの

決算日の市場価格等に基づく時価法(評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定)を採用しております。

時価のないもの

移動平均法による原価法を採用しております。

2. 固定資産の減価償却の方法

(1) 有形固定資産

定率法を採用しております。ただし、平成10年4月1日以降に取得した建物(建物附属設備を除く)並びに平成28年4月1日以降に取得した建物附属設備及び構築物については、定額法を採用しております。

なお、主な耐用年数は以下のとおりであります。

建物	5年～50年
器具備品	2年～20年

(2) 無形固定資産

定額法を採用しております。

なお、自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間(5年)に基づく定額法を採用しております。

3. 外貨建の資産及び負債の本邦通貨への換算基準

外貨建金銭債権債務は、期末日の直物為替相場により円貨に換算し、換算差額は損益として処理しております。

4. 引当金の計上基準

(1) 貸倒引当金

貸付金等の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を勘案し、回収不能見込額を計上しております。

(2) 賞与引当金

従業員賞与の支給に充てるため、支給見込額に基づき計上しております。

(3) 役員賞与引当金

役員賞与の支給に充てるため、支給見込額に基づき計上しております。

(4) 退職給付引当金

従業員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務及び年金資産の見込額に基づき計上しております。

退職給付見込額の期間帰属方法

退職給付債務の算定にあたり、退職給付見込額を当事業年度末までの期間に帰属させる方法については、給付算定式基準によっております。

数理計算上の差異及び過去勤務費用の費用処理方法

過去勤務費用は、その発生時の従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数(10年)による定

額法により費用処理することとしております。

数理計算上の差異は、その発生時の従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数（主として10年）による定額法により、発生した事業年度の翌期から費用処理することとしております。

(5)役員退職慰労引当金

役員退職慰労金の支給に備えるため、内規に基づく期末要支給額を計上しております。

(6)時効後支払損引当金

時効成立のため利益計上した収益分配金及び償還金について、受益者からの今後の支払請求に備えるため、過去の支払実績に基づく将来の支払見込額を計上しております。

5. その他財務諸表作成のための基本となる重要な事項

(1)消費税等の会計処理

税抜方式を採用しており、控除対象外消費税及び地方消費税は、当事業年度の費用として処理しております。

(2)連結納税制度の適用

連結納税制度を適用しております。

(未適用の会計基準等)

- ・「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 平成30年3月30日 企業会計基準委員会）
- ・「収益認識に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第30号 平成30年3月30日 企業会計基準委員会）

(1)概要

国際会計基準審議会（IASB）及び米国財務会計基準審議会（FASB）は、共同して収益認識に関する包括的な会計基準の開発を行い、平成26年5月に「顧客との契約から生じる収益」（IASBにおいてはIFRS第15号、FASBにおいてはTopic606）を公表しており、IFRS第15号は平成30年1月1日以後開始する事業年度から、Topic606は平成29年12月15日より後に開始する事業年度から適用される状況を踏まえ、企業会計基準委員会において、収益認識に関する包括的な会計基準が開発され、適用指針と合わせて公表されたものです。

企業会計基準委員会の収益認識に関する会計基準の開発にあたっての基本的な方針として、IFRS第15号と整合性を図る便益の1つである財務諸表間の比較可能性の観点から、IFRS第15号の基本的な原則を取り入れることを出発点とし、会計基準を定めることとされ、また、これまで我が国で行われてきた実務等に配慮すべき項目がある場合には、比較可能性を損なわない範囲で代替的な取扱いを追加することとされております。

(2)適用予定日

平成34年3月期の期首から適用します。

(3)当該会計基準等の適用による影響

「収益認識に関する会計基準」等の適用による財務諸表に与える影響額については、現時点で評価中であります。

(貸借対照表関係)

1.有形固定資産の減価償却累計額

	第32期 (平成29年3月31日現在)	第33期 (平成30年3月31日現在)
建物	539,649千円	604,123千円
器具備品	1,029,950千円	1,215,234千円

2.関係会社に対する主な資産・負債

区分掲記した以外で各科目に含まれるものは次の通りであります。

	第32期 (平成29年3月31日現在)	第33期 (平成30年3月31日現在)
--	------------------------	------------------------

預金	47,798,472千円	41,809,118千円
未収収益	46,963千円	40,621千円
金銭の信託	30,000千円	30,000千円
未払手数料	1,993,055千円	1,577,059千円
その他未払金	2,071,256千円	3,850,734千円
未払費用	456,748千円	430,491千円

(損益計算書関係)

1. 固定資産除却損の内訳

	第32期	第33期
	(自平成28年4月1日 至平成29年3月31日)	(自平成29年4月1日 至平成30年3月31日)
建物	2,392千円	
器具備品	7,791千円	54千円
ソフトウェア	3,356千円	
計	13,540千円	54千円

2. 関係会社に対する主な取引

区分掲記した以外で各科目に含まれるものは次の通りであります。

	第32期	第33期
	(自平成28年4月1日 至平成29年3月31日)	(自平成29年4月1日 至平成30年3月31日)
支払手数料	13,862,465千円	11,380,244千円
受取利息	4,375千円	380千円
法人税、住民税及び事業税	4,204,969千円	3,851,536千円

3. 減損損失

当社は、以下の資産グループについて減損損失を計上しました。

第32期(自平成28年4月1日 至 平成29年3月31日)

場所	用途	種類	減損損失
東京都千代田区(本社)	自社利用ソフトウェア (遊休資産)	ソフトウェア 仮勘定	48,575千円

当社は資産運用業の単一セグメントであるため、事業用資産に区別はなく、全社を1つのグルーピングとしております。遊休資産については個別資産ごとにグルーピングを行っております。

当事業年度において、将来の使用見込みがなくなった自社利用ソフトウェアについて、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しました。

なお、回収可能価額として使用価値を用いておりますが、将来の使用見込みがないため、使用価値は零としております。

第33期(自平成29年4月1日 至 平成30年3月31日)

該当事項はありません。

(株主資本等変動計算書関係)

第32期(自平成28年4月1日 至 平成29年3月31日)

1. 発行済株式の種類及び総数に関する事項

	当事業年度期首 株式数 (株)	当事業年度増加 株式数 (株)	当事業年度減少 株式数 (株)	当事業年度末 株式数 (株)
発行済株式				
普通株式	211,581	-	-	211,581

合計	211,581	-	-	211,581
----	---------	---	---	---------

2. 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

平成28年6月28日開催の定時株主総会において、次のとおり決議しております。

配当金の総額	26,807,312千円
1株当たり配当額	126,700円
基準日	平成28年3月31日
効力発生日	平成28年6月29日

(2) 基準日が当事業年度に属する配当のうち、配当の効力発生日が翌事業年度となるもの

平成29年6月28日開催の定時株主総会において、次のとおり決議しております。

配当金の総額	26,595,731千円
配当の原資	利益剰余金
1株当たり配当額	125,700円
基準日	平成29年3月31日
効力発生日	平成29年6月29日

第33期（自平成29年4月1日至平成30年3月31日）

1. 発行済株式の種類及び総数に関する事項

	当事業年度期首 株式数（株）	当事業年度増加 株式数（株）	当事業年度減少 株式数（株）	当事業年度末 株式数（株）
発行済株式				
普通株式	211,581	-	-	211,581
合計	211,581	-	-	211,581

2. 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

平成29年6月28日開催の定時株主総会において、次のとおり決議しております。

配当金の総額	26,595,731千円
1株当たり配当額	125,700円
基準日	平成29年3月31日
効力発生日	平成29年6月29日

(2) 基準日が当事業年度に属する配当のうち、配当の効力発生日が翌事業年度となるもの

平成30年6月27日開催の定時株主総会において、次のとおり決議しております。

配当金の総額	11,363,380千円
配当の原資	利益剰余金
1株当たり配当額	53,707円
基準日	平成30年3月31日
効力発生日	平成30年6月28日

(リース取引関係)

借主側

オペレーティング・リース取引

オペレーティング・リース取引のうち解約不能のものに係る未経過リース料

	第32期 (平成29年3月31日現在)	第33期 (平成30年3月31日現在)
1年内	678,116千円	678,116千円
1年超	2,030,029千円	1,351,912千円
合計	2,708,145千円	2,030,029千円

（金融商品関係）

1. 金融商品の状況に関する事項

(1) 金融商品に対する取組方針

資金運用については銀行預金、譲渡性預金または投資信託に限定しており、金融機関からの資金調達は行っておりません。

(2) 金融商品の内容及びそのリスク

投資有価証券は主として投資信託であり、価格変動リスクに晒されております。

(3) 金融商品に係るリスク管理体制

内部管理規程に従って月次でリスク資本を認識し、経営会議に報告しております。

(4) 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明

金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては変動要因を織り込んでいるため、異なる前提条件等を採用することにより、当該価額が変動することがあります。

2. 金融商品の時価等に関する事項

貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりであります。なお、時価を把握することが極めて困難と認められるものは、次表には含まれておりません（（注2）参照）。

第32期(平成29年3月31日現在)

	貸借対照表 計上額(千円)	時価(千円)	差額(千円)
(1) 現金及び預金	69,212,680	69,212,680	-
(2) 有価証券	36,210	36,210	-
(3) 未収委託者報酬	10,076,022	10,076,022	-
(4) 投資有価証券	24,189,921	24,189,921	-
資産計	103,514,834	103,514,834	-
(1) 未払手数料	4,225,009	4,225,009	-
負債計	4,225,009	4,225,009	-

第33期(平成30年3月31日現在)

	貸借対照表 計上額(千円)	時価(千円)	差額(千円)
(1) 現金及び預金	54,140,307	54,140,307	-
(2) 有価証券	19,967	19,967	-
(3) 未収委託者報酬	9,770,529	9,770,529	-
(4) 投資有価証券	26,224,167	26,224,167	-
資産計	90,154,972	90,154,972	-
(1) 未払手数料	3,905,670	3,905,670	-
負債計	3,905,670	3,905,670	-

(注1) 金融商品の時価の算定方法及び有価証券に関する事項

資 産

(1) 現金及び預金、(3) 未収委託者報酬

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

(2) 有価証券、(4) 投資有価証券

これらはすべて投資信託であり、時価は基準価額によっております。

負 債

(1) 未払手数料

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

(注2) 時価を把握することが極めて困難と認められる金融商品

(単位：千円)

区分	第32期 (平成29年3月31日現在)	第33期 (平成30年3月31日現在)
非上場株式	137,160	137,160
子会社株式	160,600	160,600
関連会社株式	159,536	159,536

非上場株式は、市場価格がなく、時価を把握することが極めて困難と認められるため、「(4) 投資有価証券」には含めておりません。

また、子会社株式及び関連会社株式は、市場価格がなく、時価を把握することが極めて困難と認められるため、記載しておりません。

(注3) 金銭債権及び満期のある有価証券の決算日後の償還予定額

第32期(平成29年3月31日現在)

(単位：千円)

	1年以内	1年超 5年以内	5年超 10年以内	10年超
現金及び預金	69,212,680	-	-	-
未収委託者報酬	10,076,022	-	-	-
有価証券及び投資有価証券				
その他有価証券のうち満期があるもの				
投資信託	36,210	10,703,761	8,324,138	45,606
合計	79,324,912	10,703,761	8,324,138	45,606

第33期(平成30年3月31日現在)

(単位：千円)

	1年以内	1年超 5年以内	5年超 10年以内	10年超
現金及び預金	54,140,307	-	-	-
未収委託者報酬	9,770,529	-	-	-
有価証券及び投資有価証券				
その他有価証券のうち満期があるもの				
投資信託	19,967	13,110,758	8,593,680	68,714
合計	63,930,804	13,110,758	8,593,680	68,714

(有価証券関係)

1. 子会社株式及び関連会社株式

子会社株式及び関連会社株式（当事業年度の貸借対照表計上額は子会社株式160,600千円、関連会社株式159,536千円、前事業年度の貸借対照表計上額は子会社株式160,600千円、関連会社株式159,536千円）は、市場価格がなく、時価を把握することが極めて困難と認められるため、記載しておりません。

2. その他有価証券

第32期(平成29年3月31日現在)

	種類	貸借対照表計上額 (千円)	取得原価 (千円)	差額(千円)
貸借対照表計上額 が取得原価を超え るもの	株式	-	-	-
	債券	-	-	-
	その他	17,778,798	15,302,336	2,476,461
	小計	17,778,798	15,302,336	2,476,461

貸借対照表計上額 が取得原価を超え ないもの	株式	-	-	-
	債券	-	-	-
	その他	6,447,333	6,769,569	322,236
	小計	6,447,333	6,769,569	322,236
合計		24,226,131	22,071,906	2,154,225

第33期(平成30年3月31日現在)

	種類	貸借対照表計上額 (千円)	取得原価 (千円)	差額(千円)
貸借対照表計上額 が取得原価を超え るもの	株式	-	-	-
	債券	-	-	-
	その他	18,599,111	16,040,884	2,558,227
	小計	18,599,111	16,040,884	2,558,227
貸借対照表計上額 が取得原価を超え ないもの	株式	-	-	-
	債券	-	-	-
	その他	7,645,023	8,062,990	417,966
	小計	7,645,023	8,062,990	417,966
合計		26,244,135	24,103,874	2,140,260

3.売却したその他有価証券

第32期(自平成28年4月1日至平成29年3月31日)

種類	売却額(千円)	売却益の合計額(千円)	売却損の合計額(千円)
株式	122,688	82,146	21,570
債券	-	-	-
その他	3,439,009	176,991	20,678
合計	3,561,698	259,137	42,248

第33期(自平成29年4月1日至平成30年3月31日)

種類	売却額(千円)	売却益の合計額(千円)	売却損の合計額(千円)
株式	-	-	-
債券	-	-	-
その他	8,169,769	516,394	105,903
合計	8,169,769	516,394	105,903

4.減損処理を行った有価証券

前事業年度において、有価証券について157,482千円（その他有価証券のその他157,482千円）減損処理を行っております。

当事業年度において、有価証券について102,096千円（その他有価証券のその他102,096千円）減損処理を行っております。

なお、減損処理にあたっては、期末における時価が取得原価に比べ50%以上下落した場合、及び30%以上50%未満下落し、回復可能性等の合理的反証がない場合に行っております。

(退職給付関係)

1.採用している退職給付制度の概要

当社は、確定給付型の制度として、確定給付企業年金制度（積立型制度）及び退職一時金制度（非積立型制度）を設けております。また確定拠出型の制度として、確定拠出年金制度を設けております。

2.確定給付制度

(1)退職給付債務の期首残高と期末残高の調整表

	第32期		第33期	
	(自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日)		(自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日)	
退職給付債務の期首残高	2,997,931	千円	3,649,089	千円
勤務費用	199,166		184,120	
利息費用	22,711		27,829	
数理計算上の差異の発生額	40,934		56,895	
退職給付の支払額	183,403		188,683	
過去勤務費用の発生額	653,618		-	
退職給付債務の期末残高	3,649,089		3,729,252	

(2)年金資産の期首残高と期末残高の調整表

	第32期		第33期	
	(自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日)		(自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日)	
年金資産の期首残高	2,678,827	千円	2,698,738	千円
期待運用収益	47,553		48,080	
数理計算上の差異の発生額	7,066		47,759	
事業主からの拠出額	107,823		102,564	
退職給付の支払額	142,532		173,748	
年金資産の期末残高	2,698,738		2,723,393	

(3)退職給付債務及び年金資産の期末残高と貸借対照表に計上された退職給付引当金及び前払年金費用の調整表

	第32期		第33期	
	(平成29年3月31日現在)		(平成30年3月31日現在)	
積立型制度の退職給付債務	3,471,120	千円	3,374,562	千円
年金資産	2,698,738		2,723,393	
	772,381		651,168	
非積立型制度の退職給付債務	177,969		354,690	
未積立退職給付債務	950,350		1,005,858	
未認識数理計算上の差異	207,810		169,893	
未認識過去勤務費用	615,490		550,128	
貸借対照表に計上された負債と資産の純額	127,049		285,836	
退職給付引当金	590,154		720,536	
前払年金費用	463,105		434,700	
貸借対照表に計上された負債と資産の純額	127,049		285,836	

(4)退職給付費用及びその内訳項目の金額

	第32期		第33期	
	(自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日)		(自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日)	
勤務費用	199,166	千円	184,120	千円
利息費用	22,711		27,829	
期待運用収益	47,553		48,080	
数理計算上の差異の費用処理額	54,327		47,053	

過去勤務費用の費用処理額	38,127	65,361
その他	28,533	4,780
確定給付制度に係る退職給付費用	295,314	281,066

(注)「その他」は受入出向者に係る出向元への退職給付費用負担額等です。

(5)年金資産に関する事項

年金資産の主な内訳

年金資産合計に対する主な分類ごとの比率は、次のとおりであります。

	第32期 (平成29年3月31日現在)	第33期 (平成30年3月31日現在)
債券	62.9 %	62.2 %
株式	33.3	34.7
その他	3.7	3.1
合計	100	100

長期期待運用収益率の設定方法

年金資産の長期期待運用収益率を決定するため、現在及び予想される年金資産の配分と年金資産を構成する多様な資産からの現在及び将来期待される長期の収益率を考慮しております。

(6)数理計算上の計算基礎に関する事項

主要な数理計算上の計算基礎

	第32期 (平成29年3月31日現在)	第33期 (平成30年3月31日現在)
割引率	0.061～0.90%	0.069～0.67%
長期期待運用収益率	1.5～1.8%	1.5～1.8%

3.確定拠出制度

当社の確定拠出制度への要拠出額は、前事業年度146,421千円、当事業年度142,105千円であります。

(税効果会計関係)

1.繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別の内訳

	第32期 (平成29年3月31日現在)	第33期 (平成30年3月31日現在)
繰延税金資産		
減損損失	455,165千円	445,379千円
投資有価証券評価損	242,551	223,512
ゴルフ会員権評価損	295	-
未払事業税	124,367	135,805
賞与引当金	260,374	277,468
役員賞与引当金	11,509	12,235
役員退職慰労引当金	50,969	57,431
退職給付引当金	180,726	220,628
減価償却超過額	19,277	13,690
委託者報酬	217,902	257,879
長期差入保証金	14,803	23,262
時効後支払損引当金	77,490	78,035
連結納税適用による時価評価	236,450	200,331
その他	68,614	82,168
繰延税金資産 小計	1,960,499	2,027,829

評価性引当額	-	-
繰延税金資産 合計	1,960,499	2,027,829
繰延税金負債		
前払年金費用	141,802	133,105
連結納税適用による時価評価	1,447	1,382
その他有価証券評価差額金	659,638	655,348
その他	3	4
繰延税金負債 合計	802,893	789,840
繰延税金資産の純額	1,157,605	1,237,989

2. 法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との差異の原因となった主な項目別の内訳 第32期（平成29年3月31日現在）及び第33期（平成30年3月31日現在）

法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との差が法定実効税率の100分の5以下であるため注記を省略しております。

（セグメント情報等）

[セグメント情報]

第32期（自平成28年4月1日至平成29年3月31日）及び第33期（自平成29年4月1日至平成30年3月31日）

当社は、資産運用業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

[関連情報]

第32期（自平成28年4月1日至平成29年3月31日）及び第33期（自平成29年4月1日至平成30年3月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

単一の製品・サービスの区分の外部顧客への営業収益が損益計算書の営業収益の90%を超えるため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

（1）営業収益

投資信託の受益者の情報を制度上把握していないため、記載を省略しております。

（2）有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3. 主要な顧客ごとの情報

投資信託の受益者の情報を制度上把握していないため、記載を省略しております。

[報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報]

当社は、資産運用業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

[報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報]

当社は、資産運用業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

[報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報]

当社は、資産運用業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

（関連当事者情報）

1. 関連当事者との取引

(1) 財務諸表提出会社の親会社及び主要株主等

第32期（自平成28年4月1日至平成29年3月31日）

種類	会社等の名称	所在地	資本金	事業の内容	議決権等の所有(被所有)割合	関連当事者との関係	取引の内容	取引金額	科目	期末残高
親会社	(株)三菱UFJフィナンシャル・グループ	東京都千代田区	2,141,513百万円	銀行持株会社業	被所有 間接 100.0%	連結納税 役員の兼任	連結納税に伴う支払	4,204,969千円	その他未払金	2,071,256千円
親会社	三菱UFJ信託銀行(株)	東京都千代田区	324,279百万円	信託業、銀行業	被所有 直接 51.0%	当社投資信託の募集の取扱及び投資信託に係る事務代行の委託等	投資信託に係る事務代行手数料の支払	5,983,874千円	未払手数料	716,117千円
						投資の助言 役員の兼任	投資助言料	662,992千円	未払費用	352,297千円
主要株主	(株)三菱東京UFJ銀行	東京都千代田区	1,711,958百万円	銀行業	被所有 直接 15.0%	当社投資信託の募集の取扱及び投資信託に係る事務代行の委託等	投資信託に係る事務代行手数料の支払	7,878,591千円	未払手数料	1,276,937千円

第33期（自平成29年4月1日至平成30年3月31日）

種類	会社等の名称	所在地	資本金	事業の内容	議決権等の所有(被所有)割合	関連当事者との関係	取引の内容	取引金額	科目	期末残高
親会社	(株)三菱UFJフィナンシャル・グループ	東京都千代田区	2,141,513百万円	銀行持株会社業	被所有 間接 100.0%	連結納税	連結納税に伴う支払	3,851,587千円	その他未払金	3,850,734千円
親	三菱UFJ信託銀行(株)	東京都千代田区	324,279百万円	信託業、銀行業	被所有 直接 51.0%	当社投資信託の募集の取扱及び投資信託に係る事務代行の委託等	投資信託に係る事務代行手数料の支払	5,528,131千円	未払手数料	665,262千円

会社						投資の助言 投資助言料	664,152 千円	未払費用	348,142 千円
						投資の助言 役員の兼任			
主要株主	(株)三菱東京UFJ銀行	東京都千代田区	1,711,958 百万円	銀行業	被所有 直接 15.0%	当社投資信託の募集の取扱及び投資信託に係る事務代行の委託等	5,852,112 千円	未払手数料	921,796 千円

(注) 取引条件及び取引条件の決定方針等

連結納税については、連結納税制度に基づく連結法人税の支払予定額であります。

投資信託に係る事務代行手数料については、商品毎に、過去の料率、市場実勢等を勘案して決定しております。

投資助言料については、市場実勢を勘案して決定しております。

上記金額のうち、取引金額は消費税等を含まず、期末残高は消費税等を含んで表示しております。

(2) 財務諸表提出会社と同一の親会社をもつ会社等

第32期(自平成28年4月1日至平成29年3月31日)

種類	会社等の名称	所在地	資本金	事業の内容	議決権等の所有(被所有)割合	関連当事者との関係	取引の内容	取引金額	科目	期末残高
同一の親会社を持つ会社	三菱UFJ モルガン・スタンレー証券(株)	東京都千代田区	40,500 百万円	証券業	なし	当社投資信託の募集の取扱及び投資信託に係る事務代行の委託等	投資信託に係る事務代行手数料の支払	6,532,238 千円	未払手数料	933,908 千円

第33期(自平成29年4月1日至平成30年3月31日)

種類	会社等の名称	所在地	資本金	事業の内容	議決権等の所有(被所有)割合	関連当事者との関係	取引の内容	取引金額	科目	期末残高
----	--------	-----	-----	-------	----------------	-----------	-------	------	----	------

同一の親会社を持つ会社	三菱UFJ モルガン・ スタンレー 証券㈱	東京都 千代田 区	40,500 百万円	証券業	なし	当社投資信託の 募集の取扱及び 投資信託に係る 事務代行の委託 等	投資信託に 係る事務代 行手数料の 支払	6,263,571 千円	未払手数料	907,290 千円
-------------	--------------------------------	-----------------	---------------	-----	----	---	-------------------------------	-----------------	-------	---------------

(注) 取引条件及び取引条件の決定方針等

投資信託に係る事務代行手数料については、商品毎に、過去の料率、市場実勢等を勘案して決定しております。

上記金額のうち、取引金額は消費税等を含まず、期末残高は消費税等を含んで表示していません。

2. 親会社に関する注記

株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループ（東京証券取引所、名古屋証券取引所及びニューヨーク証券取引所に上場）

三菱UFJ信託銀行株式会社（非上場）

(1株当たり情報)

	第32期 (自平成28年4月1日 至平成29年3月31日)	第33期 (自平成29年4月1日 至平成30年3月31日)
1株当たり純資産額	466,028.30円	393,935.45円
1株当たり当期純利益金額	60,318.47円	53,652.87円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため、記載していません。

2. 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	第32期 (自平成28年4月1日 至平成29年3月31日)	第33期 (自平成29年4月1日 至平成30年3月31日)
当期純利益金額（千円）	12,762,244	11,351,928
普通株主に帰属しない金額（千円）	-	-
普通株式に係る当期純利益金額 （千円）	12,762,244	11,351,928
普通株式の期中平均株式数（株）	211,581	211,581

中間財務諸表

(1) 中間貸借対照表

(単位：千円)

第34期中間会計期間
(平成30年9月30日現在)

(資産の部)

流動資産

現金及び預金	46,097,117
有価証券	3,465,878

前払費用		508,670
未収入金		114,195
未収委託者報酬		10,467,520
未収収益		631,208
金銭の信託		30,000
その他		160,228
流動資産合計		61,474,819
固定資産		
有形固定資産		
建物	1	639,152
器具備品	1	656,022
土地		628,433
有形固定資産合計		1,923,608
無形固定資産		
電話加入権		15,822
ソフトウェア		2,634,028
ソフトウェア仮勘定		1,536,952
無形固定資産合計		4,186,802
投資その他の資産		
投資有価証券		21,198,707
関係会社株式		320,136
投資不動産	1	826,671
長期差入保証金		613,037
前払年金費用		424,967
繰延税金資産		1,265,831
その他		45,230
貸倒引当金		23,600
投資その他の資産合計		24,670,982
固定資産合計		30,781,393
資産合計		92,256,213

(単位：千円)

第34期中間会計期間
(平成30年9月30日現在)

(負債の部)

流動負債

預り金		224,194
未払金		
未払収益分配金		155,174
未払償還金		454,125
未払手数料		4,195,495
その他未払金		2,309,988
未払費用		3,556,319
未払消費税等	2	333,072
未払法人税等		723,164
賞与引当金		881,975

役員賞与引当金	70,050
その他	931,859
流動負債合計	13,835,420
固定負債	
長期未払金	43,200
退職給付引当金	787,034
役員退職慰労引当金	118,643
時効後支払損引当金	250,090
固定負債合計	1,198,968
負債合計	15,034,389
(純資産の部)	
株主資本	
資本金	2,000,131
資本剰余金	
資本準備金	3,572,096
その他資本剰余金	41,160,616
資本剰余金合計	44,732,712
利益剰余金	
利益準備金	342,589
その他利益剰余金	
別途積立金	6,998,000
繰越利益剰余金	21,681,136
利益剰余金合計	29,021,726
株主資本合計	75,754,570

(単位：千円)

第34期中間会計期間
(平成30年9月30日現在)

評価・換算差額等	
その他有価証券	1,467,253
評価差額金	
評価・換算差額等合計	1,467,253
純資産合計	77,221,823
負債純資産合計	92,256,213

(2) 中間損益計算書

(単位：千円)

第34期中間会計期間
(自平成30年4月1日
至平成30年9月30日)

営業収益	
委託者報酬	36,137,201
投資顧問料	1,348,173
その他営業収益	10,117
営業収益合計	37,495,493

営業費用		
支払手数料		14,727,452
広告宣伝費		341,268
公告費		250
調査費		
調査費		894,565
委託調査費		6,331,927
事務委託費		477,661
営業雑経費		
通信費		88,950
印刷費		221,937
協会費		24,807
諸会費		8,174
事務機器関連費		861,234
営業費用合計		23,978,229
一般管理費		
給料		
役員報酬		172,324
給料・手当		2,826,697
賞与引当金繰入		881,975
役員賞与引当金繰入		70,050
福利厚生費		614,206
交際費		6,039
旅費交通費		98,159
租税公課		208,364
不動産賃借料		330,556
退職給付費用		215,629
役員退職慰労引当金繰入		25,499
固定資産減価償却費	1	595,226
諸経費		232,738
一般管理費合計		6,277,466
営業利益		7,239,797

(単位：千円)

第34期中間会計期間

(自 平成30年4月1日

至 平成30年9月30日)

営業外収益		
受取配当金		135,921
受取利息		205
投資有価証券償還益		8,893
収益分配金等時効完成分		39,613
受取賃貸料		5,484
その他		10,239
営業外収益合計		200,357
営業外費用		
投資有価証券償還損		16,309
賃貸関連費用	1	25,983

その他	528
営業外費用合計	42,820
経常利益	7,397,334
特別利益	
投資有価証券売却益	420,066
特別利益合計	420,066
特別損失	
投資有価証券売却損	80,356
投資有価証券評価損	62,310
固定資産除却損	3,345
商標使用料	90,000
特別損失合計	236,012
税引前中間純利益	7,581,388
法人税、住民税及び事業税	2,347,830
法人税等調整額	20,048
法人税等合計	2,327,781
中間純利益	5,253,606

(3) 中間株主資本等変動計算書

第34期中間会計期間（自 平成30年4月1日 至 平成30年9月30日）

(単位：千円)

	株主資本								株主資本合計
	資本金	資本剰余金			利益準備金	その他利益剰余金		利益剰余金合計	
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計		別途積立金	繰越利益剰余金		
当期首残高	2,000,131	3,572,096	41,160,616	44,732,712	342,589	6,998,000	27,790,911	35,131,500	81,864,344
当中間期変動額									
剰余金の配当							11,363,380	11,363,380	11,363,380
中間純利益							5,253,606	5,253,606	5,253,606
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)									
当中間期変動額合計							6,109,774	6,109,774	6,109,774
当中間期末残高	2,000,131	3,572,096	41,160,616	44,732,712	342,589	6,998,000	21,681,136	29,021,726	75,754,570

	評価・換算差額等		純資産合計
	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計	
当期首残高	1,484,913	1,484,913	83,349,257
当中間期変動額			
剰余金の配当			11,363,380
中間純利益			5,253,606
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)	17,659	17,659	17,659
当中間期変動額合計	17,659	17,659	6,127,434
当中間期末残高	1,467,253	1,467,253	77,221,823

[重要な会計方針]

1. 有価証券の評価基準及び評価方法

(1) 子会社株式及び関連会社株式

移動平均法による原価法を採用しております。

(2) その他有価証券

時価のあるもの

中間決算日の市場価格等に基づく時価法(評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定)を採用しております。

時価のないもの

移動平均法による原価法を採用しております。

2. 固定資産の減価償却の方法

(1) 有形固定資産及び投資不動産

定率法を採用しております。ただし、平成10年4月1日以降に取得した建物（建物附属設備を除く）並びに平成28年4月1日以降に取得した建物附属設備及び構築物については、定額法を採用しております。

なお、主な耐用年数は以下のとおりであります。

建物 5年～50年

器具備品 2年～20年

投資不動産 3年～47年

(2) 無形固定資産

定額法を採用しております。

なお、自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間(5年)に基づく定額法を採用しております。

3. 引当金の計上基準

(1) 貸倒引当金

貸付金等の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を勘案し、回収不能見込額を計上しております。

(2) 賞与引当金

従業員賞与の支給に充てるため、支給見込額に基づき計上しております。

(3) 役員賞与引当金

役員賞与の支給に充てるため、支給見込額に基づき計上しております。

(4) 退職給付引当金

従業員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務及び年金資産の見込額に基づき、当中間会計期間末において発生していると認められる額を計上しております。

退職給付見込額の期間帰属方法

退職給付債務の算定にあたり、退職給付見込額を当事業年度末までの期間に帰属させる方法については、給付算定式基準によっております。

数理計算上の差異及び過去勤務費用の費用処理方法

過去勤務費用は、その発生時の従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数（10年）による定額法により費用処理することとしております。

数理計算上の差異は、その発生時の従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数（主として10年）による定額法により、発生した事業年度の翌期から費用処理することとしております。

(5) 役員退職慰労引当金

役員の退職慰労金の支給に備えるため、内規に基づく中間期末要支給額を計上しております。

(6) 時効後支払損引当金

時効成立のため利益計上した収益分配金及び償還金について、受益者からの今後の支払請求に

備えるため、過去の支払実績に基づく将来の支払見込額を計上しております。

4. 外貨建の資産及び負債の本邦通貨への換算基準

外貨建金銭債権債務は、中間決算日の直物為替相場により円貨に換算し、換算差額は損益として処理しております。

5. その他中間財務諸表作成のための基本となる重要な事項

(1) 消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は税抜方式によっており、控除対象外消費税及び地方消費税は、当事業年度の費用として処理しております。

(2) 連結納税制度の適用

連結納税制度を適用しております。

[表示方法の変更]

（「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」の適用）

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 平成30年2月16日）を当中間会計期間の期首から適用し、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示する方法に変更しております。

[注記事項]

（中間貸借対照表関係）

1 減価償却累計額

	第34期中間会計期間 (平成30年9月30日現在)
建物	524,318千円
器具備品	1,274,989千円
投資不動産	133,640千円

2 消費税等の取扱い

仮払消費税等及び仮受消費税等は、相殺のうえ、「未払消費税等」として表示しております。

（中間損益計算書関係）

1 減価償却実施額

	第34期中間会計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
有形固定資産	111,368千円
無形固定資産	483,858千円
投資不動産	724千円

（中間株主資本等変動計算書関係）

第34期中間会計期間（自平成30年4月1日 至平成30年9月30日）

1. 発行済株式の種類及び総数に関する事項

	当事業年度期首 株式数 (株)	当中間会計期間 増加株式数 (株)	当中間会計期間 減少株式数 (株)	当中間会計期間末 株式数 (株)
発行済株式				
普通株式	211,581	-	-	211,581

合計	211,581	-	-	211,581
----	---------	---	---	---------

2. 配当に関する事項

平成30年6月27日開催の定時株主総会において、次のとおり決議しております。

配当金の総額	11,363,380千円
配当の原資	利益剰余金
1株当たり配当額	53,707円
基準日	平成30年3月31日
効力発生日	平成30年6月28日

（リース取引関係）

第34期中間会計期間(平成30年9月30日現在)

借主側

オペレーティング・リース取引

オペレーティング・リース取引のうち解約不能のものに係る未経過リース料

1年内	677,036千円
1年超	1,013,934千円
合 計	1,690,971千円

（金融商品関係）

第34期中間会計期間(平成30年9月30日現在)

金融商品の時価等に関する事項

平成30年9月30日における中間貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりであります。なお、時価を把握することが極めて困難と認められるものは、次表には含まれておりません（（注2）参照）。

	中間貸借対照表 計上額（千円）	時価（千円）	差額（千円）
(1) 現金及び預金	46,097,117	46,097,117	-
(2) 有価証券	3,465,878	3,465,878	-
(3) 未収委託者報酬	10,467,520	10,467,520	-
(4) 投資有価証券	21,061,547	21,061,547	-
資産計	81,092,063	81,092,063	-
(1) 未払手数料	4,195,495	4,195,495	-
負債計	4,195,495	4,195,495	-

（注1）金融商品の時価の算定方法及び有価証券に関する事項

資 産

(1)現金及び預金、(3)未収委託者報酬

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

(2)有価証券、(4)投資有価証券

これらの時価について、投資信託は基準価額によっております。

負 債

(1)未払手数料

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

（注2）時価を把握することが極めて困難と認められる金融商品

非上場株式（中間貸借対照表計上額137,160千円）は、市場価格がなく、時価を把握することが極めて困難と認められるため、「(4) 投資有価証券」には含めておりません。

また、子会社株式及び関連会社株式（中間貸借対照表計上額 関係会社株式320,136千円）は、市場価格がなく、時価を把握することが極めて困難と認められるため、記載しておりません。

（注3）金融商品の時価等に関する事項についての補足説明

金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては変動要因を織り込んでいるため、異なる前提条件等を採用することにより、当該価額が変動することがあります。

（有価証券関係）

第34期中間会計期間（平成30年9月30日現在）

1. 子会社株式及び関連会社株式

子会社株式及び関連会社株式（中間貸借対照表計上額 関係会社株式320,136千円）は、市場価格がなく、時価を把握することが極めて困難と認められるため、記載しておりません。

2. その他有価証券

	種類	中間貸借対照表 計上額（千円）	取得原価 （千円）	差額（千円）
中間貸借対照表計 上額が取得原価を 超えるもの	株式	-	-	-
	債券	-	-	-
	その他	17,134,450	14,614,710	2,519,740
	小計	17,134,450	14,614,710	2,519,740
中間貸借対照表計 上額が取得原価を 超えないもの	株式	-	-	-
	債券	-	-	-
	その他	7,392,975	7,797,908	404,933
	小計	7,392,975	7,797,908	404,933
合計		24,527,425	22,412,618	2,114,807

（注）非上場株式（中間貸借対照表計上額137,160千円）については、市場価格がなく、時価を把握することが極めて困難であると認められることから、上表の「その他有価証券」には含めておりません。

（セグメント情報等）

[セグメント情報]

第34期中間会計期間（自 平成30年4月1日 至 平成30年9月30日）

当社は、資産運用業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

[関連情報]

第34期中間会計期間（自 平成30年4月1日 至 平成30年9月30日）

1. 製品及びサービスごとの情報

単一の製品・サービスの区分の外部顧客への営業収益が中間損益計算書の営業収益の90%を超えるため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 営業収益

投資信託の受益者の情報を制度上把握していないため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3. 主要な顧客ごとの情報

投資信託の受益者の情報を制度上把握していないため、記載を省略しております。

[報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報]

該当事項はありません。

[報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報]

該当事項はありません。

[報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報]

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり純資産額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	第34期中間会計期間 (平成30年9月30日現在)
1株当たり純資産額	364,975.22円
(算定上の基礎)	
純資産の部の合計額(千円)	77,221,823
普通株式に係る中間期末の純資産額(千円)	77,221,823
1株当たり純資産額の算定に用いられた 中間期末の普通株式の数(株)	211,581

1株当たり中間純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	第34期中間会計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
1株当たり中間純利益金額	24,830.23円
(算定上の基礎)	
中間純利益金額(千円)	5,253,606
普通株主に帰属しない金額(千円)	-
普通株式に係る中間純利益金額(千円)	5,253,606
普通株式の期中平均株式数(株)	211,581

(注) 潜在株式調整後1株当たり中間純利益金額については、潜在株式が存在しないため、記載していません。

第2【その他の関係法人の概況】

1【名称、資本金の額及び事業の内容】

<更新後>

(1) 受託会社

名称：三菱UFJ信託銀行株式会社

(再信託受託会社：日本マスタートラスト信託銀行株式会社)

資本金の額：324,279百万円(2018年3月末現在)

事業の内容：銀行業務および信託業務を営んでいます。

(2) 販売会社

名称	資本金の額 (2018年3月末現在)	事業の内容
三菱UFJ信託銀行株式会社	324,279 百万円	銀行業務および信託業務を営んでいます。
明治安田生命保険相互会社	880,000 百万円	生命保険業務を営んでいます。
損害保険ジャパン日本興亜株式会社	70,000 百万円	損害保険業務を営んでいます。
損保ジャパン日本興亜DC証券株式会社	3,000 百万円	金融商品取引法に定める第一種金融商品取引業を営んでいます。

明治安田生命保険相互会社の資本金の額は「基金」および「基金償却積立金」の合計額を記載しております。

3【資本関係】

<訂正前>

委託会社と関係法人の主な資本関係は次の通りです。(平成30年5月末現在)

三菱UFJ信託銀行株式会社は委託会社の株式の100.0%(211,581株)を所有しています。

(注)関係法人が所有する委託会社の株式または委託会社が所有する関係法人の株式のうち、持株比率が3%以上のものを記載しています。

<訂正後>

委託会社と関係法人の主な資本関係は次の通りです。(2018年11月末現在)

三菱UFJ信託銀行株式会社は委託会社の株式の100.0%(211,581株)を所有しています。

(注)関係法人が所有する委託会社の株式または委託会社が所有する関係法人の株式のうち、持株比率が3%以上のものを記載しています。

独立監査人の中間監査報告書

平成30年12月19日

三菱UFJ国際投信株式会社
取締役会御中

PwCあらた有限責任監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 大畑 茂 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 和田 渉 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「ファンドの経理状況」に掲げられている三菱UFJ <DC>インデックス・ライフ・バランス ファンド（積極型）の平成30年5月15日から平成30年11月14日までの中間計算期間の中間財務諸表、すなわち、中間貸借対照表、中間損益及び剰余金計算書並びに中間注記表について中間監査を行った。

中間財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠して中間財務諸表を作成し有用な情報を表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない中間財務諸表を作成し有用な情報を表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した中間監査に基づいて、独立の立場から中間財務諸表に対する意見を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間監査の基準に準拠して中間監査を行った。中間監査の基準は、当監査法人に中間財務諸表には全体として中間財務諸表の有用な情報の表示に関して投資者の判断を損なうような重要な虚偽表示がないかどうかの合理的な保証を得るために、中間監査に係る監査計画を策定し、これに基づき中間監査を実施することを求めている。

中間監査においては、中間財務諸表の金額及び開示について監査証拠を入手するために年度監査と比べて監査手続の一部を省略した中間監査手続が実施される。中間監査手続は、当監査法人の判断により、不正又は誤謬による中間財務諸表の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて、分析的手続等を中心とした監査手続に必要な応じて追加の監査手続が選択及び適用される。中間監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、当監査法人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な中間監査手続を立案するために、中間財務諸表の作成と有用な情報の表示に関連する内部統制を検討する。また、中間監査には、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め中間財務諸表の表示を検討することが含まれる。

当監査法人は、中間監査の意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

中間監査意見

当監査法人は、上記の中間財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠して、三菱UFJ <DC>インデックス・ライフ・バランス ファンド（積極型）の平成30年11月14日現在の信託財産の状態及び同日をもって終了する中間計算期間（平成30年5月15日から平成30年11月14日まで）の損益の状況に関する有用な情報を表示しているものと認める。

利害関係

三菱UFJ国際投信株式会社及びファンドと当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

（注）上記は、委託会社が、独立監査人の中間監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は委託会社が別途保管しております。なお、XBRLデータは中間監査の対象に含まれていません。

[次へ](#)

独立監査人の監査報告書

平成30年6月27日

三菱UFJ国際投信株式会社

取締役会 御中

有限責任監査法人 トーマツ

指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	弥永 めぐみ	印
--------------------	-------	--------	---

指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	青木 裕晃	印
--------------------	-------	-------	---

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「委託会社等の経理状況」に掲げられている三菱UFJ国際投信株式会社の平成29年4月1日から平成30年3月31日までの第33期事業年度の財務諸表、すなわち、貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書、重要な会計方針及びその他の注記について監査を行った。

財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した監査に基づいて、独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、当監査法人に財務諸表に重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得るために、監査計画を策定し、これに基づき監査を実施することを求めている。

監査においては、財務諸表の金額及び開示について監査証拠を入手するための手続が実施される。監査手続は、当監査法人の判断により、不正又は誤謬による財務諸表の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて選択及び適用される。財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、当監査法人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、財務諸表の作成と適正な表示に関連する内部統制を検討する。また、監査には、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め全体としての財務諸表の表示を検討することが含まれる。

当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

監査意見

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、三菱UFJ国際投信株式会社の平成30年3月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する事業年度の経営成績をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 上記は、委託会社が、独立監査人の監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は委託会社が別途保管しております。なお、XBRLデータは監査の対象に含まれていません。

独立監査人の中間監査報告書

平成30年12月3日

三菱UFJ国際投信株式会社

取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員
公認会計士 青木 裕 晃 印

業務執行社員

指定有限責任社員
公認会計士 伊藤 鉄 也 印

業務執行社員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「委託会社等の経理状況」に掲げられている三菱UFJ国際投信株式会社の平成30年4月1日から平成31年3月31日までの第34期事業年度の中間会計期間（平成30年4月1日から平成30年9月30日まで）に係る中間財務諸表、すなわち、中間貸借対照表、中間損益計算書、中間株主資本等変動計算書、重要な会計方針及びその他の注記について中間監査を行った。

中間財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠して中間財務諸表を作成し有用な情報を表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない中間財務諸表を作成し有用な情報を表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した中間監査に基づいて、独立の立場から中間財務諸表に対する意見を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間監査の基準に準拠して中間監査を行った。中間監査の基準は、当監査法人に中間財務諸表には全体として中間財務諸表の有用な情報の表示に関して投資者の判断を損なうような重要な虚偽表示がないかどうかの合理的な保証を得るために、中間監査に係る監査計画を策定し、これに基づき中間監査を実施することを求めている。

中間監査においては、中間財務諸表の金額及び開示について監査証拠を入手するために年度監査と比べて監査手続の一部を省略した中間監査手続が実施される。中間監査手続は、当監査法人の判断により、不正又は誤謬による中間財務諸表の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて、分析的手続等を中心とした監査手続に必要に応じて追加の監査手続が選択及び適用される。中間監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、当監査法人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な中間監査手続を立案するために、中間財務諸表の作成と有用な情報の表示に関連する内部統制を検討する。また、中間監査には、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め中間財務諸表の表示を検討することが含まれる。

当監査法人は、中間監査の意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

中間監査意見

当監査法人は、上記の中間財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠して、三菱UFJ国際投信株式会社の平成30年9月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する中間会計期間（平成30年4月1日から平成30年9月30日まで）の経営成績に関する有用な情報を表示しているものと認める。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

（注）上記は、委託会社が、独立監査人の中間監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は委託会社が別途保管しております。なお、XBRLデータは中間監査の対象に含まれていません。